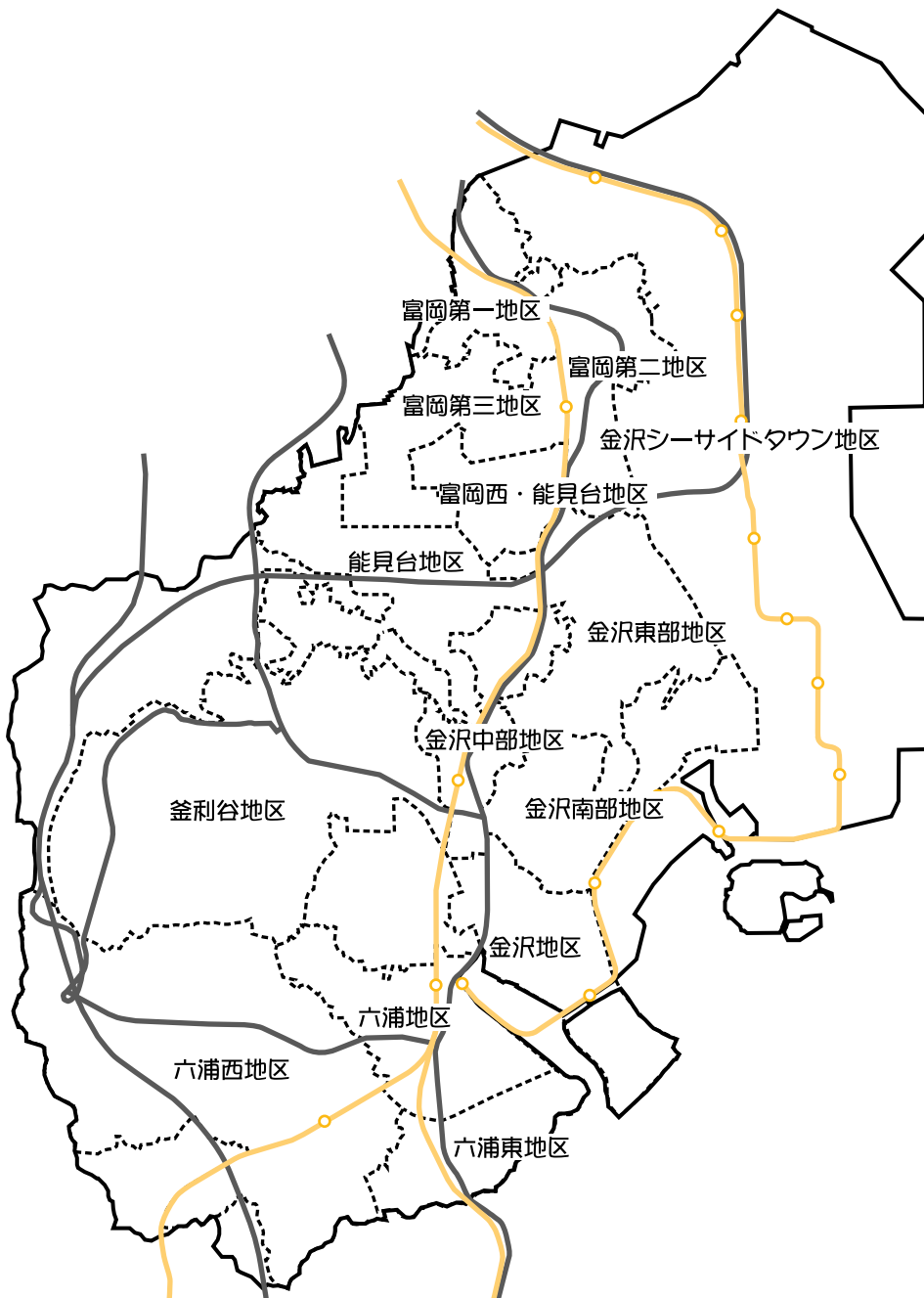


# 金沢区の未来設計図

～ 金沢区地域福祉保健計画 ～



平成17年11月

金 沢 区 役 所

## ～地域社会で誰もが幸せに生きる～



地域社会で暮らす人々が、それぞれ役割を持って幸せに暮らすことができればどんなに素晴らしいことでしょうか。そのためには、私たち一人ひとりは何をすべきなのでしょう。

「地域社会で誰もが幸せに生きる」を理念に、金沢区では、平成16、17年度の2か年をかけて「金沢区地域福祉保健計画」の策定を進めてまいりました。

計画を策定する過程では、区民、福祉保健団体、事業者、行政が協働し、より良い地域社会を作るための仕組みを考え、今後実現可能な行動について検討を重ねました。

このような熱心な話し合いによって誕生したのが、「金沢区地域福祉保健計画」です。

金沢区の地域福祉保健を推進する要の計画であると共に、今後の区政運営においても重要な指針となります。

ところで、近年の核家族化、地域社会の相互扶助機能の低下、少子高齢化の進展、さらに非「成長・拡大」の時代という社会情勢の中で、行政の役割は大変重くなっています。その一方で、地域におけるボランティア活動やNPO法人活動なども活発化しています。計画策定のために開催した地区懇談会やボランティア活動者の話し合いをきっかけに、数々の具体的な活動が展開されており、私は金沢区民の力を大変頼もしく感じています。

今後、計画推進のために、金沢区では様々な取り組みを進めていきますが、行政の力だけでは乗り越えられない課題も沢山あります。金沢区民の智恵と力を発揮していただき、「住んでいて良かった。ずっと永く住み続けたい」と思える金沢区を、共に作っていきましょう。

最後になりますが、地区懇談会、手作り計画、策定委員会、区民アンケートなどの計画策定作業にご参加、ご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げます。

平成17年11月

金沢区長 横松 進一郎

# 目 次

第1章 計画策定の指針と特徴	
第1節 計画策定の指針	
I  なぜ、いま地域福祉保健計画を作るのか	2
II 計画策定の理念と目的	3
III 計画の期間	3
IV 計画の策定体制	4
V  計画の位置づけ	5
VI 計画策定経過	5
第2節 計画策定の特徴	
I  区民参加・協働の手法	8
II 社会福祉協議会との連携	8
III 計画の全体像	9
第2章 5か年の目標と取り組み	
第1節 各地区の道しるべ（地区行動指針）	12
第2節 手作り計画（各団体行動指針）	16
第3節 五つの重点テーマ	
I  重点テーマ設定に至る経緯	18
II 重点テーマと将来像の体系	18
第4節 テーマ別取り組み内容と役割	
I  保健・福祉のコミュニティづくり	20
II 心とからだの健康づくり	26
III 情報提供と相談の体制づくり	32
IV ネットワークの活性化	36
V 人材（財）の育成	40
第3章 計画の推進に向けて	
第1節 計画を確実に推進するために	46
第2節 計画の進行管理と公表	47
資料編	
○関係法規等の抜粋	50
○用語説明	51
○「金沢区地域福祉保健計画」策定のための区民アンケート調査結果の概要	54
○金沢区地域福祉保健計画策定委員会委員名簿	66

# 第1章

## 計画策定の指針と特徴

### 第1節

#### 計画策定の指針



# I なぜ、いま地域福祉保健計画を作るのか

金沢区は豊かな自然環境、歴史風土、複数の大学、大規模レジャー施設と恵まれた環境を持つ区です。また、古くからの街並みの地域、宅地開発された新興住宅地で戸建住宅の多い地域、大規模なマンション群のある地域など多くの顔を持っています。

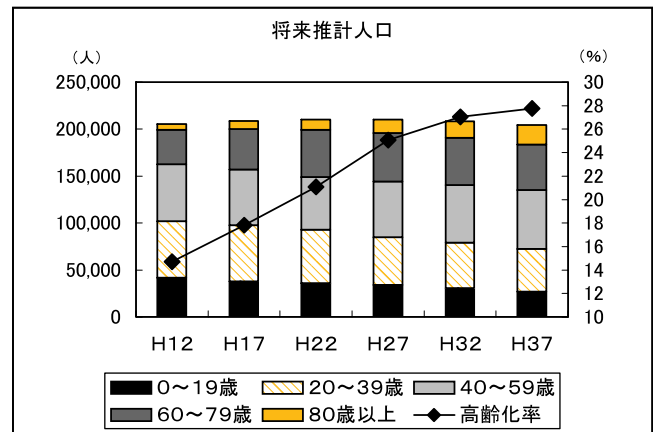
金沢区でも少子高齢化の進展や家族構成（世帯員数）の変化、ご近所とのお付き合いの仕方の変化など、区民を取り巻く生活環境は大きく変わってきています。

世帯員数の減少、都市の成熟化などにより家族が従来持っていた機能や地域でのお互いに助け合う機能が弱体化するなど、地域社会は大きく変化しています。

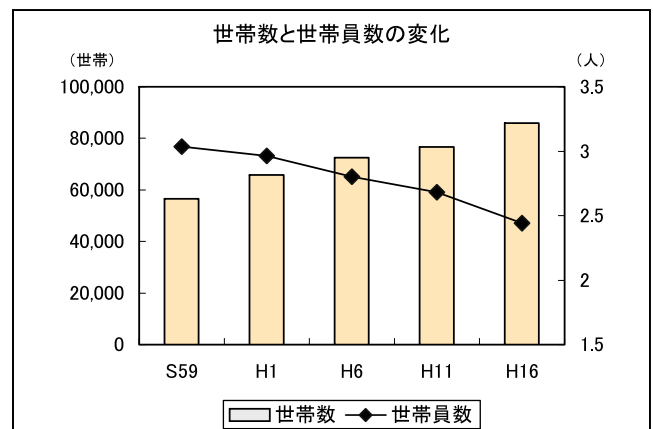
金沢区を地域別にみても、子育て世代の多く住む地域、高齢者世帯の多く住む地域、その他の地域と多様な様子があります。

この様な地域社会の変化の中で、社会的な支援を必要とする人たちが、住み慣れた地域で地域の一員として、地域社会と関係を持ちながら、尊厳をもちいつまでも安心して暮らすためには、公的な制度によるサービスだけでなく、市民団体によるサポートや地域住民による助け合いや支えあいなど、多くの力を組み合わせて取り組んでいく必要があります。また、社会的な支援を必要とする人が支援を受けるだけでなく、地域の中で役割を持って日々暮らしていける様な仕組みも必要です。

この様な仕組みづくりを進めるために、横浜市が策定する市域全体を対象にした既存の各種福祉計画とは別に、区役所の各セクションを越えて地域を基盤にした取り組みを再構築する必要性がありました。また、住民、各種団体、事業者及び行政が共通の目標に対して、それぞれが役割を持ち協働して取り組んでいく必要があります。



出典：「横浜市将来人口推計調査」を利用



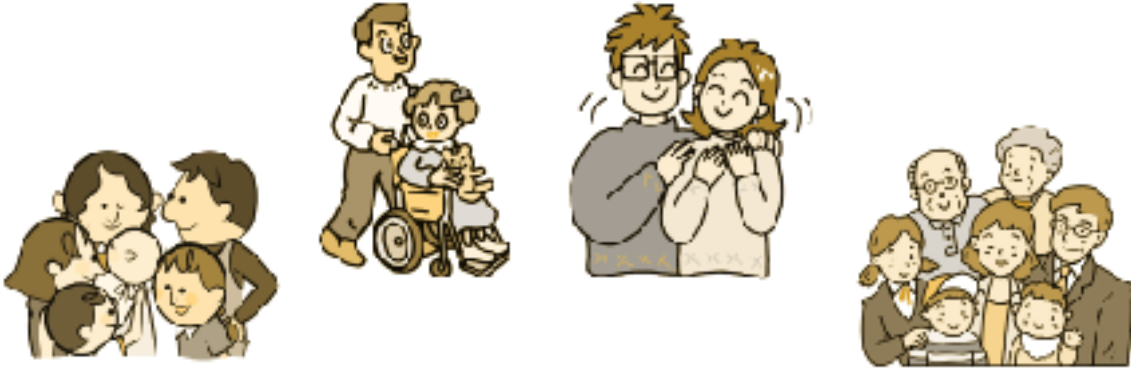
出典：「横浜市人口のあゆみ 2000」を利用



## II 計画策定の理念と目的

### (1) 計画策定の理念

# 地域社会で誰もが幸せに生きる



### (2) 計画策定の目的と方法

上記に示す理念の実現に向け、「金沢区地域福祉保健計画」の策定を通じ、区民、福祉保健団体、事業者及び行政が協働して、地域における生活課題を解決するための仕組みをつくり、金沢区における地域福祉及び保健の推進を図ることを目的とします。



## III 計画の期間

この計画の期間は、平成18年4月1日（平成18年度）～平成23年3月31日（平成22年度）までの5年間とし、平成21年度から次期計画の見直しに着手します。

16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
		← 計画実施期間 →				
← 計画策定期間 →					← 計画見直し期間 →	

## IV 計画の策定体制

### (1) 策定委員会

この計画の策定にあたり、金沢区民、区内福祉保健団体関係者、事業者、行政職員で構成された「金沢区地域福祉保健計画策定委員会」を金沢区地域福祉保健推進会議の部会として位置づけて設置しました。

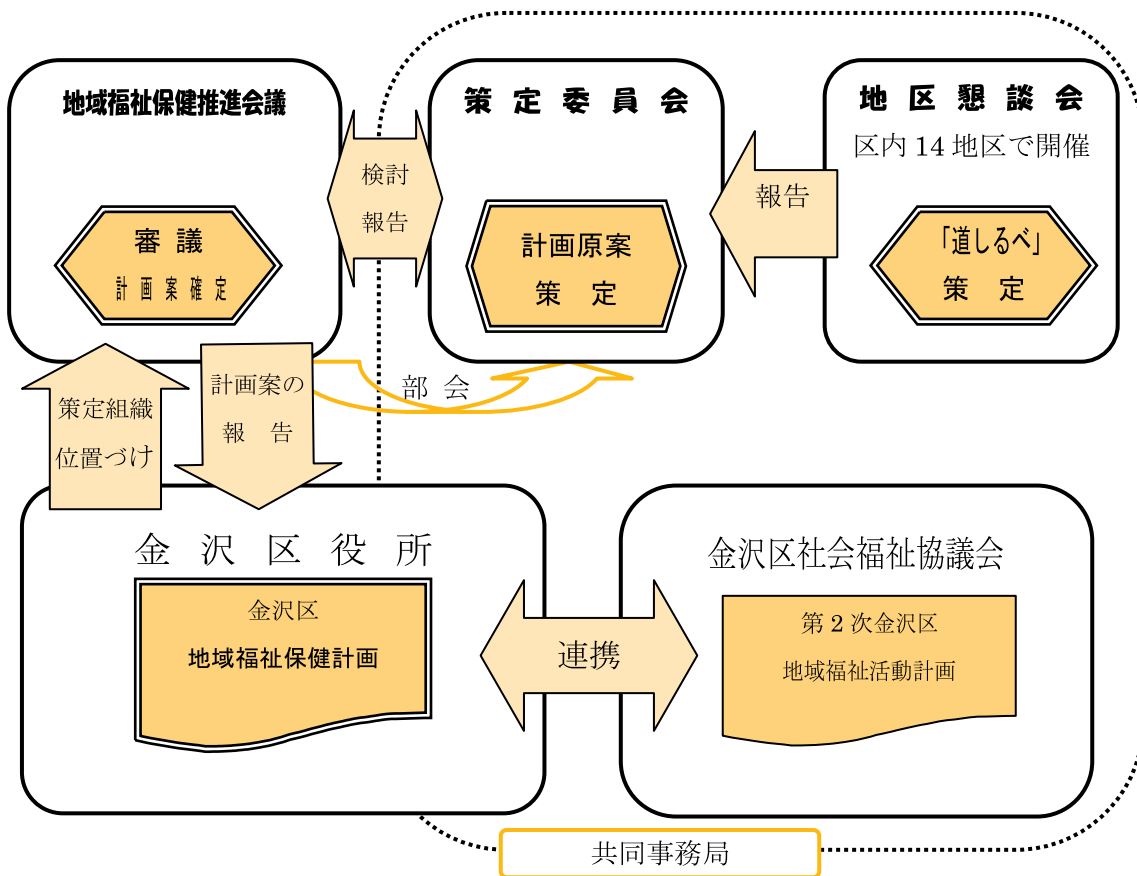
策定委員会は、区内14地区で開催された地区懇談会での検討内容などを踏まえ、地区懇談会では検討されなかった課題等について議論を加え、計画に必要な事項を整理・検討しました。

検討の経過や内容、進捗状況等については金沢区地域福祉保健推進会議に報告しながら策定作業を進め、平成17年10月に策定委員会で取りまとめた計画原案を金沢区地域福祉保健推進会議に報告しました。

### (2) 金沢区地域福祉保健推進会議

町内会連合会、社会福祉協議会、ボランティア連絡協議会、民生委員児童委員協議会、食生活等改善推進委員会、保健活動推進委員会、医師会等の区内の福祉関係者や保健医療関係者で構成する「金沢区地域福祉保健推進会議」で、策定委員会の作成した計画案を審議し区長に報告しました。

### (3) 関連図



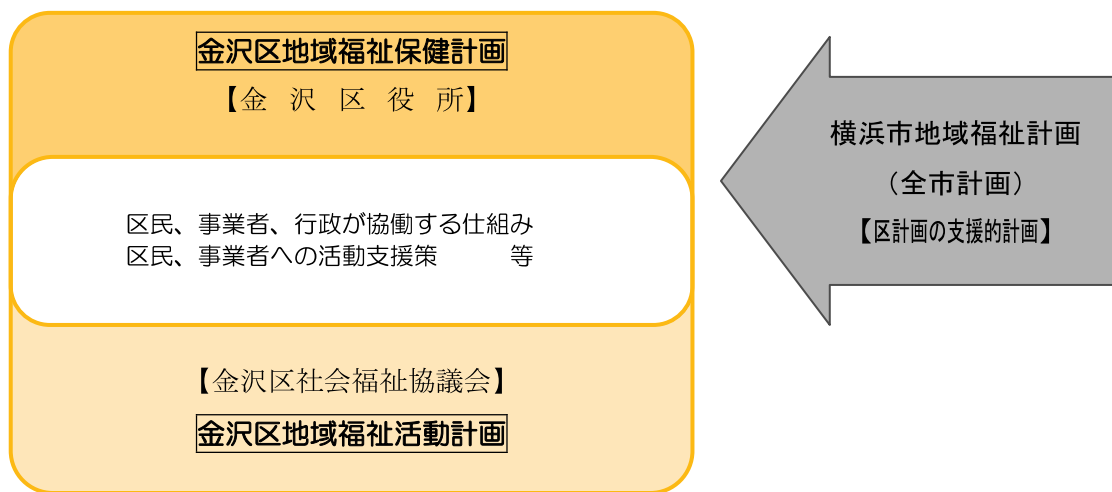
## V 計画の位置づけ

市町村地域福祉計画は、平成12年に施行された社会福祉法第107条に基づいて策定される計画です。横浜市の計画は市域全体を対象とした全市計画と市内18区がそれぞれに策定する区計画で構成されます。

『金沢区地域福祉保健計画』は、地域を基盤に金沢区の望まれる将来像を明らかにし、そのために必要な目標と行動を定め、区民、市民団体、事業者、行政が「協働」してその目標を達成するために必要な取り組みを示した計画です。

社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会が別に定める「金沢区地域福祉活動計画」は民間による地域福祉の推進について、金沢区における目標と取り組みを示した計画です。

二つの計画の相互の関係は以下の図のとおりになります。



## VI 計画策定経過

### (1) 平成16年度

	日 程	回 数	備 考
計画策定委員会	平成16年9月10日～平成17年3月23日	2回	
分科会 (健康・保健)	平成16年10月13日～平成17年3月23日	7回	合同分科会を含む
(支えあい・助けあい)	平成16年10月20日～平成17年3月23日	6回	合同分科会を含む
(情報・相談)	平成16年10月27日～平成17年3月23日	6回	合同分科会を含む
地区懇談会	平成16年10月19日～平成17年3月19日	41回 (14地区)	延べ1,205人参加

### (2) 平成17年度

	日 程	回 数	備 考
計画策定委員会	平成17年4月25日～平成17年12月16日	7回	
区民アンケート実施	平成17年6月30日～平成17年7月14日	1,574件回収	3,500サンプル (回収率45.0%)

# 第1章

## 第2節

### 計画策定の特徴

## I 区民参加・協働の手法

計画の策定にあたっては、区民の参加と計画策定の過程を重視し、より多くの区民が計画に対して関心を持ち、計画に示された目標に対して当事者意識をもって多くの取り組みに参加できるように、次のような区民参加・協働の手法を用いました。

### ① 地区懇談会の開催

区内を地区社会福祉協議会を単位に14地区に分けて「地区懇談会」を開催しました。地区懇談会はワークショップ形式で行い参加者が幾つかのグループに分かれ、それぞれに地区の望まれる将来像、目標、そのための取り組みのアイデア等について話し合いをした後に地区全体としての目標を参加者全員で決めました（一部地域を除く）。

また、地区懇談会の開催にあたっては、区内14地区の地区社会福祉協議会の全面的協力を得て準備、運営にあたりました。

### ② 手作り計画の募集

金沢区の福祉保健関係団体、在住在勤の学生や個人の方が考える金沢区や自分の地域の将来像について、それを実現するための計画として「手作り計画」を募集しました。

### ③ 区民アンケートの実施

区民の意識や関心、実態などを把握するため、20歳以上の金沢区在住の方、3,500人を対象（無作為抽出）に「金沢区地域福祉保健計画」策定のための区民アンケート調査を実施しました。

## II 社会福祉協議会との連携

計画策定にあたっては、社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会と連携して計画策定にあたりました。社会福祉法人 横浜市金沢区社会福祉協議会が策定する「第2次金沢区地域福祉活動計画」との関係は以下の通りです。

区分	目標設定	取り組みの主体	計画の対象地域	計画の内容
行政部分	策定委員会で、「各地区道しるべ」、「手作り計画」を踏まえて設定	金沢区役所	金沢区全域	○区域計画 ○地区活動 テーマ別活動支援
民間部分		金沢区社会福祉協議会	金沢区全域	○区域計画 ○地区活動 テーマ別活動支援
		市民団体	金沢区全域	○団体活動(※)
		地域・住民	各地域	○地区活動(※)

※ 区社会福祉協議会、地区社会福祉協議会に関する部分は地域福祉活動計画として策定されます。

## Ⅲ 計画の全体像

金沢区地域福祉保健計画は、住民、福祉保健関係団体、事業者の参加を得て策定過程での市民の参加を重視して策定しました。

策定委員会、地区懇談会、手作り計画、区民アンケートと多くの場で区民の意見を汲み取り、それぞれの目標とするところ、取り組みについて区計画としてまとめられています。

### 策定委員会では

平成16年度に「健康・保健」、「支えあい・助け合い」、「情報・相談」の三つの分野でそれぞれ分科会を設け、テーマごとに金沢区の望まれる将来像について話し合い、将来像を実現するために住民、福祉保健関係団体、事業者、行政がどのようなことにどのような役割をもって取り組むべきか検討をしました。

### 地区懇談会は

区内を地区社会福祉協議会を単位に14地区に分けてワークショップ形式で開催しました。各地区の地区懇談会では住民が主体となって地域の望まれる将来について話し合い、そのための目標とキャッチフレーズを決めました。また、目標を達成するための取り組みのアイデアが参加者から数多くいただきました。地区懇談会での話し合いの結果を「道しるべ（地区行動指針）」としてまとめました。

### 手作り計画は

区民、区内の団体が独自に考えた計画です。今回の策定にあたって金沢区社会福祉協議会の当事者団体部会とボランティア部会の二つの団体から手作り計画が提案されました。部会員が集まりワークショップ形式で金沢区の望まれる将来像、それを実現するための目標について検討し、目標達成のためのアイデアと住民、福祉保健団体、行政など役割について話し合われました。話し合われた結果は「手作り計画（団体行動指針）」としてまとめられました。

策定委員会では、平成16年度に行われた各分科会での検討結果、区内14地区でまとめられた「道しるべ（地区行動指針）」、二つの団体から提案された「手作り計画（団体行動指針）」の内容について検討、調整を行いました。

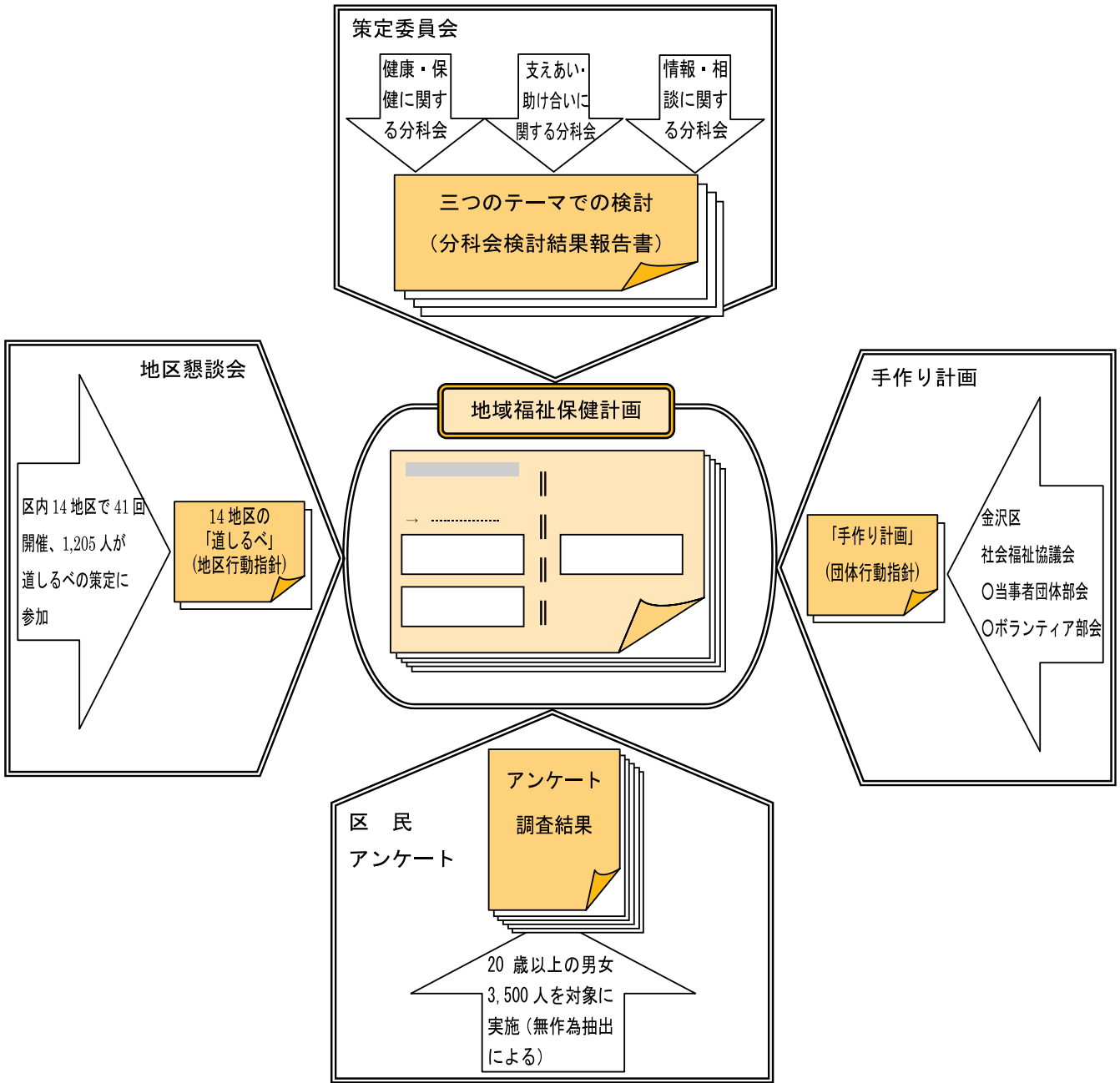
「道しるべ」、「手作り計画」で示された目標、取り組みのアイデアのうち防犯、防災、環境、G30に関する事項については、当策定委員会の重点テーマとしては取り扱わず別に設けられた協議会等にてご検討いただくこととしました。

以上の過程を経て、金沢区地域福祉保健計画策定委員会では五つの重点テーマを定めました。

### 区民アンケートは

平成17年7月に実施し、分科会での検討結果に関する事項について、20歳以上の区民3,500人を対象に実施し広く区民の意見をいただきました。アンケート調査結果及びいただいたご意見は計画に積極的に反映をしました。

# 計画全体像のフロー





# 2

## 第2章

# 5か年の目標と取り組み

## 第1節

各地区の道しるべ（地区行動指針）

## 第2節

手作り計画（各団体行動指針）

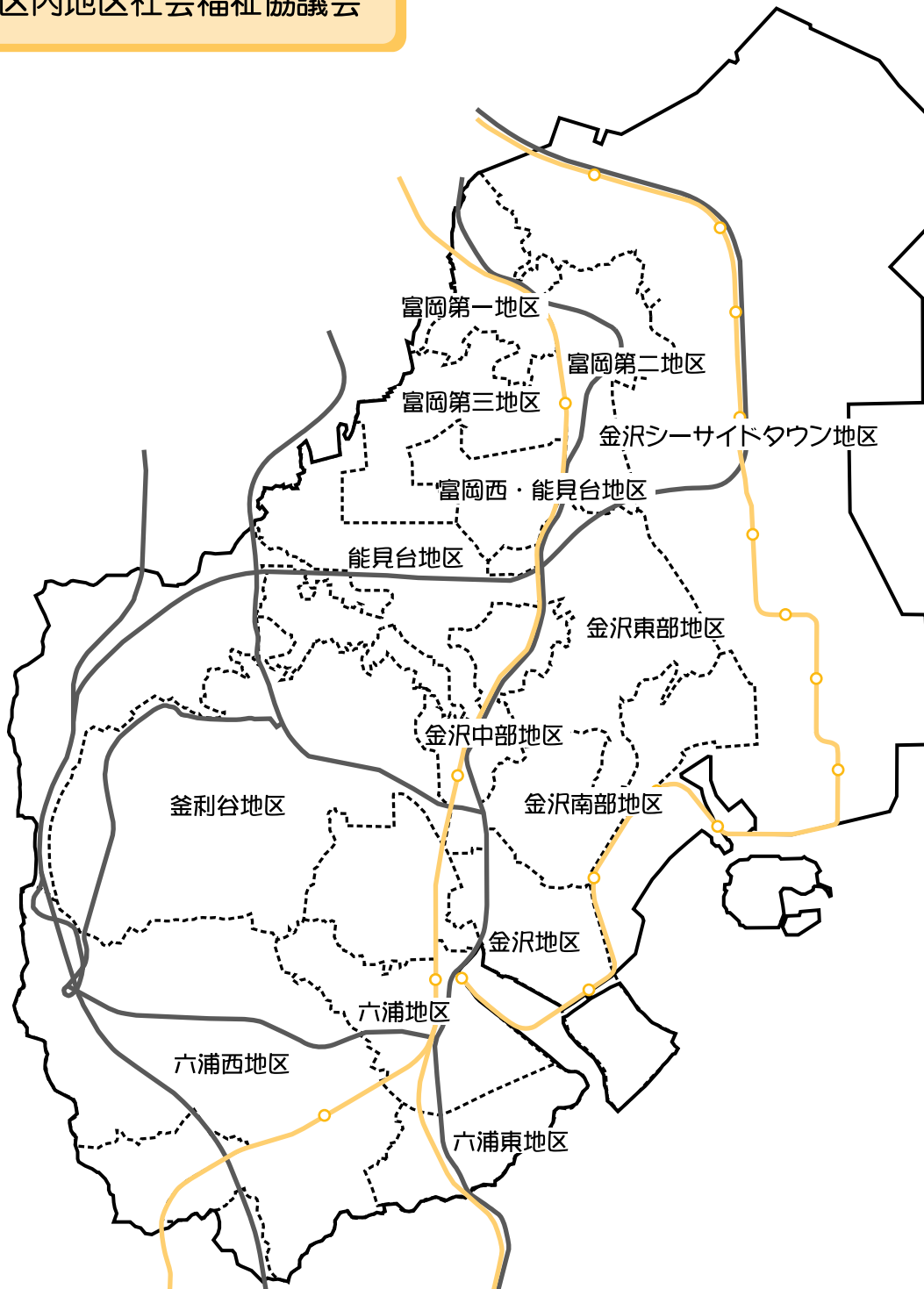
## 第1節 各地区の道しるべ（地区行動指針）

各地区の道しるべ（地区行動指針）は、区内14の地区で地域の住民、地域ケアプラザの職員などの福祉保健関係者が、自ら地域のこと、“こうなったらいいな”という将来像について話し合い、それを実現するために目標を定め、目標を達成する取り組みのアイデア等をまとめたものです。

それぞれの地域の良さを尊重し、より住みやすい地域をめざすために、地区懇談会に参加者された皆さんによって取り決めた目標です。

各地区の道しるべ（地区行動指針）のキャッチフレーズと目標は次のとおりです。

### 区内地区社会福祉協議会



## 富岡第一地区

～キャッチフレーズ～

**みんなの顔が見える街 ～ふれあいあいさつにここ元気 安全で安心、きれいな街～**

- 目標1 世代を超えて気軽に交流し合える地域づくり
- 目標2 子どもを見守る地域にする
- 目標3 安全で安心できるまちづくり
- 目標4 きれいな街づくり

## 富岡第二地区

～キャッチフレーズ～

**広げよう！笑顔であいさつ近所の輪**

- 目標1 地域の活動が皆の目にとまるよう、宣伝の仕方を工夫します
- 目標2 リーダーの育成を行います
- 目標3 隣近所に声をかけあえる地域にします
- 目標4 異世代の交流を実施します
- 目標5 顔の見えるまちづくりを行います
- 目標6 老人福祉センターのミニ版を地区社協につくります
- 目標7 健やかな子ども・青少年を育てます
- 目標8 地域で健康づくりを進めます
- 目標9 いろいろな行事を通じ、地域の連携をつくっていきます

## 富岡第三地区

～キャッチフレーズ～

**安心して楽しく住める富岡第三地区**

- 目標1 防犯・防災に関するネットワークづくり（情報交換）を行います
- 目標2 イベント等の開催により、世代間交流を進めます
- 目標3 子育てを地域で支えられるようにします
- 目標4 男性等のボランティア人材の確保に努めます
- 目標5 町内単位での情報交換手段について検討していきます
- 目標6 高齢者や障害者にやさしい環境づくりを行います
- 目標7 ゴミ分別等のマナーが守れるようにします

## 富岡西・能見台地区

～キャッチフレーズ～

**心地よく暮らせる街 富岡西・能見台 ～明日が待ち遠しい街～**

- 目標1 世代間の交流に取り組みます
- 目標2 安全・安心な街づくりを進めます
- 目標3 美しい街づくりを進めます
- 目標4 健康で過ごせる街にします
- 目標5 駅前から誇れる街づくりを進めます

## 能見台地区

- テーマ1 環境美化・環境整備
- テーマ2 地域づくり・地域活動
- テーマ3 防災・防犯

## 金沢シーサイドタウン地区

～キャッチフレーズ～

**生涯住み続けたいと思う街**

- 目標1 異世代の交流・多様な文化の共生
- 目標2 みんながサポーターとなれる街
- 目標3 情報の発信者はあなた、受信するのもあなた
- 目標4 赤ちゃんからお年寄りまで健やかに楽しく！（心の健康・身体の健康）
- 目標5 さわやかな街づくりを私たちで！

## 金沢東部地区

～キャッチフレーズ～

**みんなにやさしい潤いのある金沢東部 ～子どもの歓声が響き、あいさつの飛び交う街～**

- 目標1 世代間の交流を進め、地域の文化を豊かにします
- 目標2 活動・交流・相談等の場づくりを進めます
- 目標3 福祉の担い手を増やします
- 目標4 パトロールの仕組みづくりを進めます
- 目標5 ゴミの分別マナーを守れるようにします

## 金沢中部地区

～キャッチフレーズ～

**四季の緑と潮の音 安心と歴史のまちかど**

- 目標1 「安全に暮らせるまち」にします
- 目標2 「歩きやすくやさしいまち」にします
- 目標3 「地域資源を大切に作るまち」にします

## 金沢南部地区

～キャッチフレーズ～

**南部地区 全員参加のまちづくり**

- 目標1 人のふれあいを大切にする地域
- 目標2 きれいで安全に暮らせる地域
- 目標3 高齢者、障害者が安心して元気に暮らせる街
- 目標4 子育てしやすい環境をつくり、子どもの健全な育成を見守る

## 金沢地区

～キャッチフレーズ～

**あいさつで隣近所の支えあい ～顔を合わせたらこんにちは～**

～10年先より今（今日・明日）を見直そう～

- 目標1 地域活動に多くの人に関われる地域にします
- 目標2 住民同士の声かけや挨拶をすすめます ～顔を合わせたらこんにちは～
- 目標3 子育て世代から高齢者まで誰もが集い、支えあえる地域にします
- 目標4 防災、防犯面で安心できる地域にします
- 目標5 地域住民と行政との協働をすすめます

## 六浦東地区

～キャッチフレーズ～

**誰もが住み良い支えあいの街 六浦東**

- 目標1 防犯面で安心できる地域にします
- 目標2 いたわりのある地域にします
- 目標3 誰もが集える場づくりを進めます
- 目標4 ゴミの分別マナーを守れる地域にします
- 目標5 高齢者の健康づくりを進めます
- 目標6 子育て環境の充実を進めます
- 目標7 高齢者が移動しやすい環境づくりを進めます
- 目標8 地域活動に多くの人に関われる地域にします

## 六浦地区

～キャッチフレーズ～

**みんな しあわせ はつらつ 六浦**

- 目標1 安全安心な街にするためにみんなで力を合わせる
- 目標2 地域でいきいき楽しい老後
- 目標3 子育てしやすい環境を
- 目標4 子どもからお年寄りまで集まれる場所を作ろう

## 六浦西地区

～キャッチフレーズ～

**思いやりと笑顔で問題解決に取り組むまち・六浦西**

- 目標1 住民が互いに思いやり、誰もが生きがいを感じ暮らせるまちにする
- 目標2 公共施設を活用する
- 目標3 地域活動にみんなが参加する
- 目標4 安心して暮らせるまちにする

## 釜利谷地区

～キャッチフレーズ～

**相手の目線で考え行動する釜利谷 ～笑顔で安心、緑あふれるグレートな街～**

- 目標1 高齢者、子ども、障害者など、共に支えあう人間関係づくり
- 目標2 声かけやあいさつが気軽にできるまちづくり
- 目標3 住みやすい環境づくり（バリアフリー、ゴミの処理、緑環境）
- 目標4 防災、防犯面で安心できるまちづくり
- 目標5 元気で暮らせる健康づくり
- 目標6 まちづくりに子ども達の創造力を発揮できる場づくり

## 第2節 手作り計画（各団体行動指針）

手作り計画（各団体行動指針）は二つの団体から提案されました。

金沢区社会福祉協議会の当事者団体部会とボランティア部会では、部会員が集まりワークショップ形式で金沢区の望まれる将来像、それを実現するための目標について検討し、目標達成のためのアイデアと住民、福祉保健団体、行政などそれぞれの役割について話し合いました。

話し合われた結果は手作り計画（団体行動指針）としてまとめられ、策定委員会に報告されました。各団体が作った計画のキャッチフレーズと目標は次のとおりです。

### 当事者団体部会

～キャッチフレーズ～

#### みんなで生きる街

- 目標1 豊かな生活環境
- 目標2 相手の思いが互いに分かる心のふれあい
- 目標3 緊急時・災害時の安心
- 目標4 身近で使いやすいサービス
- 目標5 安心して外出できる街
- 目標6 安心して利用できる医療

### ボランティア部会

～キャッチフレーズ～

#### 支えあうやさしい街 金沢 ～公は支援を！私たちは心と手足を！～

- 目標1 ボランティアの担い手を増やす
- 目標2 専門機関の充実とネットワークづくり
- 目標3 誰でも必要な情報がスムーズに得られる
- 目標4 助けあいのできる地域にする
- 目標5 施設の充実
- 目標6 交通手段の充実
- 目標7 街のバリアフリーを進める
- 目標8 災害時の支援

# 第2章

## 第3節

### 五つの重点テーマ

# I 重点テーマ設定に至る経緯

策定委員会の三つの分科会では、それぞれの分野から金沢区の望ましい将来について検討しました。検討の結果、それぞれの分科会でキャッチフレーズと三つの重点テーマが決まり、相互の関係を検討整理した結果、五つの重点テーマとしてまとめました。

## II 重点テーマと将来像の体系

### 重点テーマ

#### I 保健・福祉のコミュニティづくり

- 将来像1 地域みんなが多くの活動に参加しています
- 将来像2 誰もが地域社会との関わりをもっています

### 重点テーマ

#### II 心とからだの健康づくり

- 将来像1 バランスのとれた健康づくりができています
- 将来像2 生涯にわたる健康管理ができています

### 重点テーマ

#### III 情報提供と相談の体制づくり

- 将来像1 知りたいことをわかりやすく、多様な方法で提供できています
- 将来像2 相談したいことが、身近な人・身近な場で行える環境ができています

### 重点テーマ

#### IV ネットワークの活性化

- 将来像1 支援機関が連携して福祉サービスを提供しています
- 将来像2 保健に関する総合的な連携ができています

### 重点テーマ

#### V 人材(財)の育成

- 将来像1 地域住民が福祉・人権に対し意識し、理解しています
- 将来像2 十分な知識と技術をもった人材の育成ができています



# 第2章

---

## 第4節

テーマ別取り組み内容と役割

---

# I 保健・福祉のコミュニティづくり

## 【将来像】 1 地域みんなが多く活動に参加しています

子どもから高齢者まで気軽に集まることができる場が街中にあり、交流、子育て相談、ミニデイサービス、健康づくりなどの様々な活動が行われています。その場では、誰もが主役となって活躍しています。近隣では“お互いさま”の助け合いが自然にできています。

### 目標 1： 子どもから高齢者まで、世代間交流の機会をつくります。

#### 行 動

- 金沢区特性である歴史や文化などを通じた多世代交流の機会を、民間と行政との協働により促進していきます。
- 地域住民や高齢者関係団体・組織等と、保育園や幼稚園、小・中学校とのつながりを活発化していきます。

#### 【実施手段（目標達成のための手段）】

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
福祉コミュニティ推進地域活動支援事業	「道しるべ」（地区の行動指針）の実現に向けた多世代交流を支援します。	◎ 充実	→				福祉保健課
地域ふれあい交流事業	いきいきフェスタ・青少年の文化伝承・健康スポーツ等を通じて仲間づくりとふれあいの交流を図ります。	◎ 充実	→				地域振興課
旧川合玉堂別邸及び園庭緑地保全活用事業	京急富岡駅周辺の市街地に残された地域資源の保全活用事業を通じて多世代の交流を図ります。	△ 検討	→				区政推進課

### 地 区 懇 談 会 で は 、

金沢区14地区の全ての地区懇談会で、異なる世代の交流が目標・取り組みのアイデアとして示されました。

#### 【地区懇談会で出された取り組みのアイデアの一部】

- 世代間交流ができる場づくり
- 心の健康のため異世代の交流
- 清掃活動を拡大させ、世代間交流に発展
- 多様な世代との交流
- 子どもと高齢者の交流の機会
- 人々の心が通う交流や、異世代交流
- 世代間交流の場として、学校の空教室の活用
- 世代間交流の場として、地域ケアプラザの活用
- 新たな世代間交流の場として、公園等の活用
- 地域や老人会と小・中学校、子供会等との交流機会
- 高齢者、障がい者、一般住民、子供会親子、地域役員がふれあえる交流会



**目標 2 : 活動場所、拠点を確保します。**

**行 動**

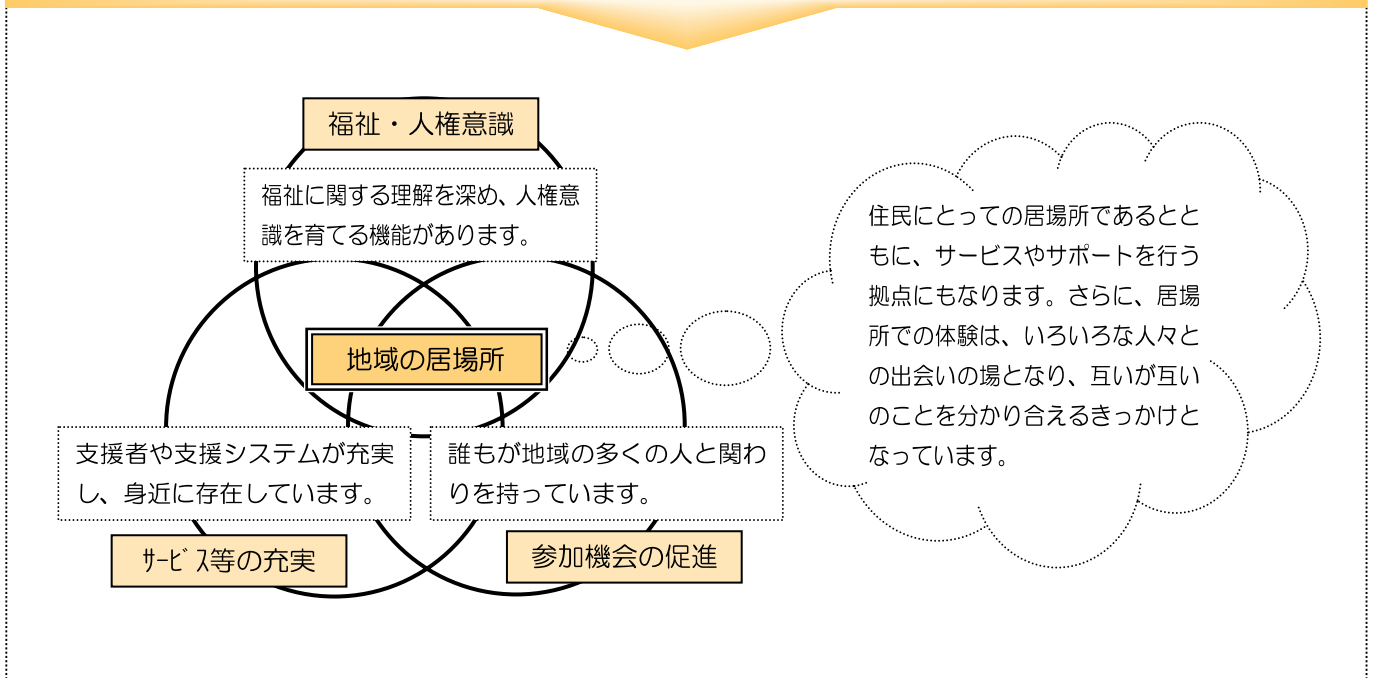
○場の確保や運営等を民間と行政の協働により取り組み、既存施設の活用も含めた多彩な交流の場を増やします。

**【実施手段（目標達成のための手段）】**

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
地域ケアプラザの整備	六浦中学校区エリアと西柴中学校区エリアに整備します。	△ 検討	→				福祉保健課
地域ケアプラザの機能の充実	地域における福祉保健活動の中核的拠点として、情報提供や交流を担う地域交流部門の機能を充実します。	△ 検討	◎ 充実	→			福祉保健課
地域子育て支援拠点の整備	子育てに関する情報提供・相談・居場所の機能を持つ、地域の子育て支援の総合的な拠点を整備します。	△ 検討	→				サービス課
精神障害者地域生活支援拠点整備促進事業	拠点型精神障害者地域生活支援センター設置を目指して施設のあり方を検討し、生活支援事業を行います。	○ 実施	→				サービス課
区版市民活動支援センターの整備	市民活動への支援や協働による身近な課題解決を推進するためセンターを整備します。	△ 検討	→				区政推進課
福祉保健活動拠点等の充実	福祉保健活動拠点の運営を充実すると共に、既存施設の活用等により、地区拠点を整備します	○ 実施	(区)	→		福祉保健課	
			△ 検討	○ 実施	→		区社会福祉協議会 実施(地区)

**策定委員会（分科会）の検討から、**





**目標 3： 地域で健康づくり活動に取り組みます。**

**行 動**

- 保健活動推進員や食生活等改善推進員を中心とした地域単位の健康づくりを進めます。
- 行政は、地域における自発的な健康づくり活動が継続的に活動できるよう、支援します。

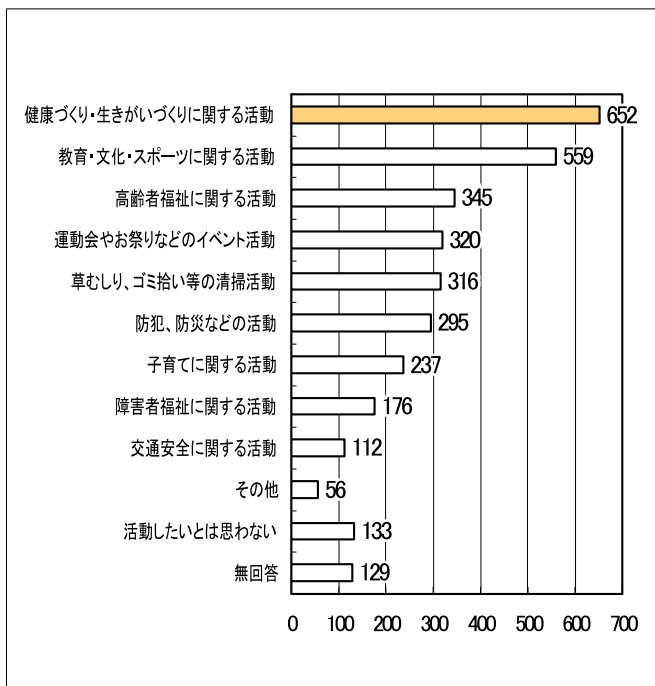
**【実施手段（目標達成のための手段）】**

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
 ○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
町ぐるみ健康づくり支援事業	「自分の健康は自分でつくる」を目的に、連合自治会・町内会単位に自主的な健康づくりグループづくりを支援します。	◎	→	→	→	→	福祉保健課
転倒骨折予防事業	転倒による骨折が原因で要介護状態になる高齢者を減らすため、転倒骨折予防教室をケアプラザで実施します。	○	→	→	→	→	サービス課

**区民アンケート・地区懇談会では、**

回答数=1,574



問 今後積極的に参加したい、または継続したい地域・ボランティア活動はどのようなものですか。【複数回答】

**【地区懇談会で出された取り組みのアイデアの例】**

- スポーツセンターや公園をもっと活用し健康づくりを進める
- 健康づくり体操を広めていきます
- 健康づくりに関する企画を立案し、実施します
- ウォークラリーなどの機会をつくり、健康づくりにつなげます

## 【将来像】 2 誰もが地域社会との関わりをもっています

高齢者、子育て中の方、定年退職をした方など、誰もが地域社会で自分らしく暮らしています。様々な担い手による社会的サポートが盛んになり、孤立感や不安感を抱いて生活している人々も安心して地域で暮らせるようになっていきます。

### 目標 1： 高齢者・障がい者・子育て世代の地域社会への参加機会を促進します。

#### 行 動

○支援の必要な方等が精神的なサポートを受けられ、社会とのつながりを持てる仕組みづくりを民間と行政の協働により進めていきます。

#### 【実施手段（目標達成のための手段）】

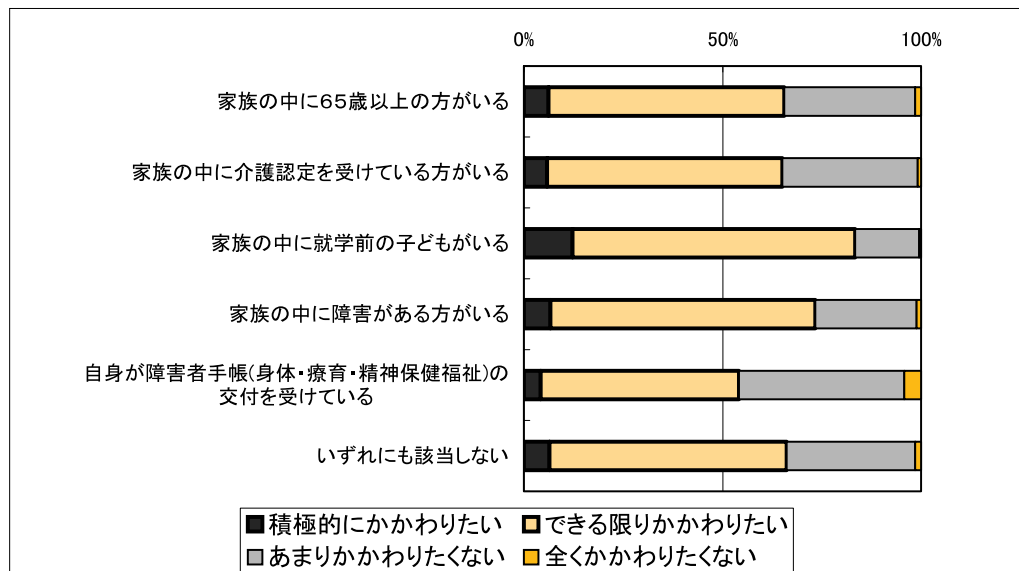
△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

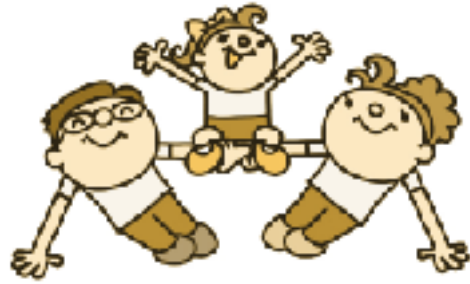
取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
ふれあい交流事業	ふれあい交流会などにより、障がい（福祉）に関する啓発と交流を図ります。	△ 検討	○ 実施	→	→	→	区社会福祉協議会
障害児者社会参加活動支援事業	関係機関・団体連携を進めて、障がい児者の余暇活動や社会参加活動を支援します。	○ 実施	→	◎ 充実	→	→	区社会福祉協議会
横浜子育てサポートシステム事業の拡充	子育ての援助を受けたい方と、援助を提供したい方の会員登録を推進し、子育て援助活動を拡充します。	○ 実施	→	→	→	◎ 充実	区社会福祉協議会
区民ライフアップ支援事業（生涯学習活動の支援）	区民の自主的な学習活動を支援するとともに、地域の学習リーダーを育成し、仲間づくり、地域づくりを図ります。	◎ 充実	→	→	→	→	地域振興課
友愛活動推進員事業	友愛活動推進員の活動を通じて、高齢者世帯への見守りや生きがいづくりなどを進めます。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課

### 区 民 アン ケ ー ト で は 、

問 今後、地域の方々との様にかかわりを持ちたいと考えていますか。

回答数=1,781





**目標 2： サービスやサポートの充実を図ります。**

**行 動**

- 福祉保健活動を行う組織や団体、起業家が必要とする支援を明らかにします。
- 福祉保健活動を行う組織や団体の財源確保に向け、助成の仕組みを構築します。

**【実施手段（目標達成のための手段）】**

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
福祉コミュニティ推進区民協働事業	「こころの電話金沢」や「フレンドリースペース金沢」などのNPO法人、ボランティア団体が行う福祉保健事業を支援します。	◎ 充実	→	→	→	→	福祉保健課
福祉コミュニティ推進地域活動支援事業（再掲）	地区社会福祉協議会が「道しるべ（地区の行動指針）」を実現するために行う活動を支援します。	◎ 充実	→	→	→	→	福祉保健課
送迎サービス事業	ボランティアによるマイカー送迎を事業に組み入れるなど、サービスの拡充を図ります。	◎ 充実	→	→	→	→	区社会福祉協議会
ボランティアや当事者への支援	赤いはね・いきいき助成金、よこはまふれあい助成金を活用します。また、各種研修・講座を開催します。	○ 実施	→	→	→	→	区社会福祉協議会
区ボランティアセンターの運営	ボランティア活動全体の総合支援を行なうボランティアセンターの機能充実を図ります。	○ 実施	→	→	→	→	区社会福祉協議会

**策定委員会（分科会）、区民アンケートでは、**

高齢者や障がい者の雇用促進のためにも、福祉コミュニティビジネスを盛んにする必要があります。



策定委員会  
B分科会（支えあい・助け合い）



区民アンケート  
（自由意見）

私は今、教育福祉の分野で自ら起業することを考えているが、行政がそのような起業家の人達に色々な情報や支援策を打ち出してくれるともっと活性化していくのではないかな。



## 地域の活動紹介コーナー 私たちの街の良いところ（取り組み）

### パート1《富岡第一地区、富岡第二地区、富岡第三地区、富岡西・能見台地区》

住民や地域の活動について平成16年度に実施した地区懇談会で参加された方々から出されたご意見の一部を以下にご紹介します。

- 高齢者の食事会やサロン事業、寿会等による誕生日会の開催や「お元気ですかコール」による安否確認、声かけなど、高齢者を見守る体制ができています。
- 子どもが多く、お祭りや運動会、敬老の集いなどの多岐にわたる行事が非常に盛んで、老人会とのコミュニケーションも実施されています。
- 子ども会では、年に1度東京ディズニーランドに行くなど、いろいろな行事・イベントが企画され、喜ばれています。
- 新しく来た人が活発に活動してくれており、人口の増加とともに街の活性化につながっています。
- 台風時に壊れた看板をすぐ直したり、空き巣が入ると掲示板で注意を促したり、ごみが置かれていると注意するなど、物事が起きた際の地区役員の方々の対応が早いです。
- 「青少年を見守る仲間の会（青少年指導員）」が仲間の印・ステッカーを貼るなどし、活発に活動しています。
- 地区には母親のふれあいや情報交換を目的とした「フリースペースころころ」や小・中学校との交流を行う「ふれあい交流会、ふれあいシート運動」、学校開放を活用した中・高生が自由に集える「みんなのたまり場」のほか、「老人ふれあい昼食会」、「ふれあいネットワーク」、「童謡を歌う会」など、民生委員児童委員を中心に多くの活動が活発に行われています。



- ボランティア活動が活発な地域で、その活動も多岐にわたっています。（ひとり暮らし高齢者・日中ひとり暮らし高齢者、障害者等への配食や、家事他）
- ボランティア組織はじめ地域の役員が、地域の子育て関係・中途障害者関係・高齢者の配食などの課題に連携して取り組んでいます。
- 老人クラブの中に青年部をつくり、民生委員児童委員を入れ、クラブ内での助け合いを行っています。
- 地域の中にはたくさんの公園があり、子どもたちの遊ぶ場所が充実しています。



- 実際に体験した事例（上手く地域で連携して対応できた）を生かし、その情報を発信して見守りや緊急時の対応についての勉強会を、地域の役員やボランティア、ケアプラザが開催した。その他ボランティアによるバスハイクの企画実施等、ひとつのことから工夫をして実施しています。
- 盆踊り大会や餅つき大会、地域の祭りなどの行事の伝承や、食のありがたさの伝承などを子どもたちに行っています。
- 町内会内のサークルやミニデイサービスなどのボランティア、カルチャースクール等の活動が活発で、多くの人と知り合うきっかけとなっています。
- 町内会報をパソコンによりきれいに作成し、毎月全戸配布している町内会があり、わかりやすく、読みやすいと評判です。



## II 心とからだの健康づくり

### 【将来像】 1 バランスのとれた健康づくりができています

心とからだのバランスのとれた健康づくりの重要性や正しい知識を普及啓発することにより、一人ひとりの健康意識が向上しています。各々の健康レベルに応じた取り組みが自主的に行われています。このことにより区民のさらなる健康増進が図られ、生活の質が向上し、心やさしい地域づくりが進んでいます。

#### 目標 1： 食（食生活）の大切さを伝えていきます。

#### 行 動

- 幼少期からの正しい知識や楽しい食育が重要であることを普及・啓発していきます。食事の基本について学ぶ環境を与え、食事が自分で楽しく作れる健康教育等を実施していきます。
- 健康づくりのための望ましい食生活および食の安全について、わかりやすく区民に提供し、個人の取り組みを促すよう、支援する環境づくりを推進していきます。

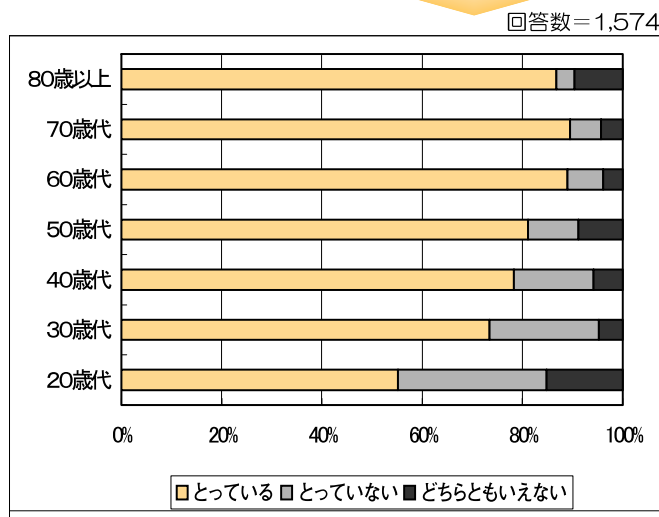
#### 【実施手段（目標達成のための手段）】

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
地域での食育活動の推進	食生活等改善推進員の活動を充実させると共に、食育に関する研修機会を増やします。	△ 検討	○ 実施	→			福祉保健課
家庭における食育の推進	小学生とその親を対象に、健康相談、調理実習、スポーツの機会を提供し、健康づくりを促進します。	○ 実施	◎ 充実	→			福祉保健課
幼稚園・保育所等における食育の推進	先駆的な保育所と協力し、幼少時からの食の体験（調理や栽培）を進めます。	○ 実施	◎ 充実	→			福祉保健課 サービス課
食育推進運動の展開	10月の健康づくり月間に重点的、効果的な食育に関する活動を推進します。	○ 実施	→				福祉保健課

### 区 民 アン ケ ー ト で は 、

問  
定期的  
に1日  
3回食  
事をと  
っていますか。



若い世代ほど規則正しい3回の食事がとれていません。

○健康づくりの3大柱は、栄養・運動・休養である。その中で食育は家族そろって取り組めるので効果がある。しかも楽しく体づくりができ、情緒豊かな人間形成に役立つというメリットがある。また、生活習慣病の予防もできる。





**目標 2： 一人ひとりの健康意識を高めます。**

**行 動**

- 生活習慣病予防対策として、特に有害とされているタバコについて児童期から認識を深めるよう、環境整備として学校と連携し、進めていきます。区民に対しては、タバコの害について正しい知識を普及啓発します。
- 心の健康づくり講演会を開催し、心の健康づくりを推進します。

**【実施手段（目標達成のための手段）】**

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
 ○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

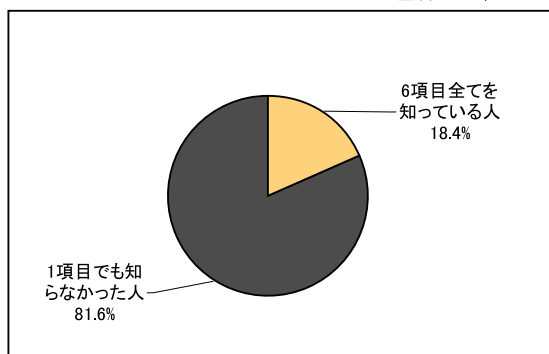
取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
地域に出向いた講習	介護予防や健康増進を図るため、転倒骨折予防教室や健康教育を地域に出向いて実施します。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課 サービス課
心の健康の推進	予防の観点から、広く心の健康問題について普及啓発を行います。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課
健康づくり月間事業	区民と行政が連携して、毎年10月に健康づくりに関する啓発事業を実施することで、区民が自発的に健康づくりを行う気運を高めます。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課
生活衛生に関する講習会	食中毒予防やシックハウス対策などの生活衛生に関する身近な話をする事により、各家庭における取り組みを促進します。	○ 実施	→	→	→	→	生活衛生課
禁煙支援事業	金沢区三師会の協力を得て、禁煙支援の環境づくりを推進します。また、禁煙サポーターを強化します。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課

**区 民 アン ケ ー ト で は 、**

問 次の6つの疾病が、生活習慣病といわれていますか。

- ① 高血圧、② 高脂血症、③ 糖尿病、④ 心筋梗塞・狭心症、⑤ 脳卒中、⑥ 悪性新生物（がん）

回答数=1,574



「健康な人はより健康に」というように、各々の健康レベルに応じて意識から行動へつなげよう。



**目標 3： 地域の中で相談できる仲間をつくります。**

**行 動**

- 日頃より家族同士、近隣とのあいさつを心がけて知り合いをつくることをすすめます。また、障がいのある方や、その家族と話し合える機会をすすめます。
- 地域での活動の場を通じてあらゆる世代が、心とからだの健康づくりを仲間と共にできるよう、環境づくりを推進していきます。

**【実施手段（目標達成のための手段）】**

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
 ○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
保健活動推進員事業	保健活動推進員活動を通して、地域ぐるみの健康づくりを進めます。	○ 実施	→				福祉保健課
機能訓練事業	脳血管疾患等の後遺症のある方を対象に、体力づくりや活動範囲を広げるためのリハビリテーション・健康教育・仲間づくりを行います。	○ 実施	→				サービス課

**策定委員会（分科会）では、**

- 子どもから高齢者まで、友人や仲間がいれば、疲れたり、イライラした時、話を聞いてもらえる。最近は人間関係が希薄なので、あらゆる機会を通して、友人や仲間をつくることは重要課題だ。
- 現代社会は、ストレス社会。子どもの頃から仲間の中で心を鍛えることが必要。仲間の支えが自殺予防に繋がり、乗り越えていける。
- 若年、壮年の自殺や、ストレスに起因する疾患が増えている。相談できる仲間の存在は、うつ病などこころの病気の予防になる。



策定委員会  
A分科会（健康・保健）

## 【将来像】 2 生涯にわたる健康管理ができています

一人ひとりが定期的に健康診査を受け、健康情報を自己管理しています。日ごろから健康状態を振り返ることにより、生活習慣の見直しができています。毎年健康診断を受けることで、疾病の早期発見・予防に役立っています。健康課題を含めた各年代の健康情報をもとに、生涯にわたり個人で健康管理ができるシステムができています。

### 目標 1： 元気なときからホームドクターを持つようにします。

#### 行 動

- 地域医療に携わる医師や歯科医師、薬剤師などで講演会を開催し、身近に関わることができる機会を検討していきます。また、かかりつけ医や往診医の情報、出前講座、医療情報等について、金沢区三師会（医師・薬剤師・歯科医師）と連携を強化し提供していきます。
- 基本健康診査（区役所や医療機関で行う公的な健診）等あらゆる機会を通じて、元気なときからかかりつけ医をもつよう、その利点についても普及啓発していきます。

#### 【実施手段（目標達成のための手段）】

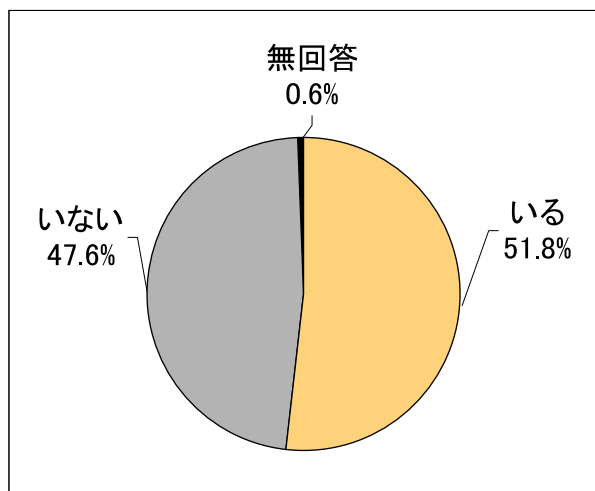
△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
かかりつけ医・かかりつけ薬局の促進	金沢区三師会と連携し、日頃からかかりつけ医をもてるよう普及・啓発していきます。	○ 実施	△ 検討	→	→	→	福祉保健課
基本健康診査事業	生活習慣病の早期発見と予防のため、基本健康診査を実施し適切な生活支援や治療に結びつけます。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課

#### 区民アンケート・策定委員会（分科会）では、

回答数=1,574

問  
日頃からかかりつけにしている医師（ホームドクター）はいますか。



元気なときからホームドクターを持つことにより、いざというときにも受診や相談できたりする。

策定委員会  
A分科会（健康・保健）

目標 2： 生涯にわたる健康情報を持つようにします。

行 動

○個人で健康管理するには、健康診査結果などの情報をもつだけでなく、活用することで自己管理が可能です。その手段として健康手帳を有効活用し、生涯にわたる健康管理ができるシステムを検討していきます。

【実施手段（目標達成のための手段）】

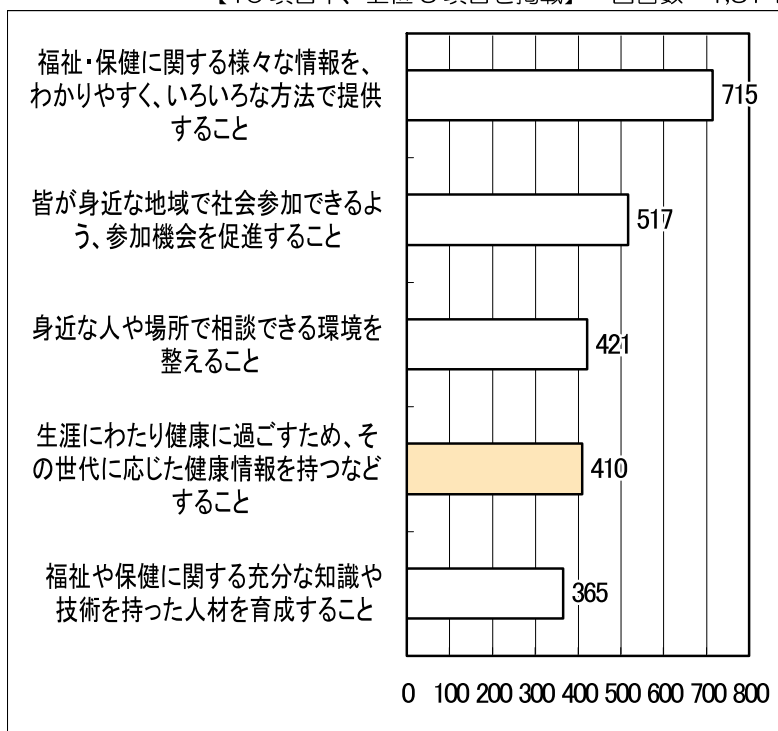
△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
健康手帳の作成	健康管理ができるような健康手帳が全ての世代に行き届くことを目指します。	△ 検討	→	→	→	→	福祉保健課

区民アンケート・策定委員会（分科会）では、

【10項目中、上位5項目を掲載】 回答数=1,574

問 今後、地域福祉を推進していくために、区民、事業者、行政などが共に取り組んでいくものとして、どのようなことが重要だと思えますか。  
【複数回答】



健康手帳は壮年期が抜けている。そのため全ての世代に応じた手帳が現在はない。健康に関する手帳の効果的な活用を勧め、抜けている部分を検討する事が必要だ。

策定委員会  
A分科会（健康・保健）



**目標 3： 健康づくりとリンクした健康診査や健康相談を実施します。**

**行 動**

- 区民の健康度を高めるため、基本健康診査の受診をさらにすすめていきます。専門職によるきめ細やかな心の健康相談を実施します。また、基本健康診査の対象でない若い世代に対して、健康診査の機会を提供します。
- 基本健康診査に絡み、区民のライフスタイルを考慮した個別の支援を充実させます。また、魅力的な健康教室を実施することにより、区民の主体的な取り組みを支援します。

**【実施手段（目標達成のための手段）】**

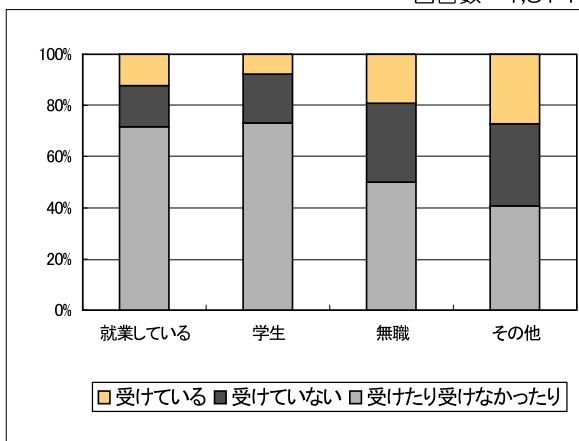
△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
 ○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
若年者の健康増進事業	39歳以下の、健診機会のない区民に対し健康診査、結果説明、臨床心理士による健康講座を開催します。また、骨密度測定・歯科検診等を行います。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課
区民のための健康づくり支援事業 (生活習慣病予防教室)	食生活・運動・休養等の生活習慣を改善する必要がある方に具体的な行動変容支援と、健全な生活習慣の確立を通して疾病発生の予防を目指します。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課
地区健康相談会	出前で、心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な支援や助言を行い家庭における健康管理を支援します。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課

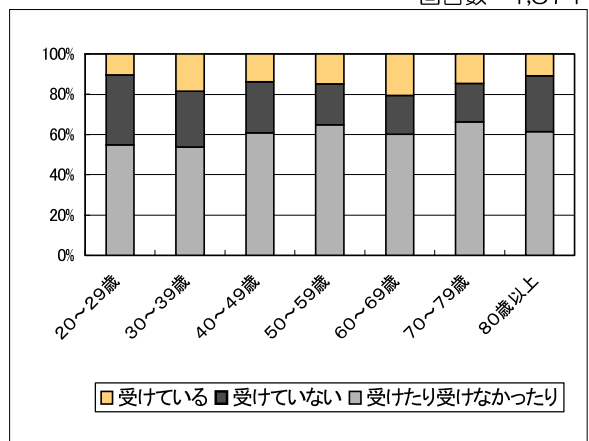
**区 民 ア ン ケ ー ト で は 、**

問  
毎年健康診断(または基本健康診査)を受けていますか。

回答数=1,574



回答数=1,574



### Ⅲ 情報提供と相談の体制づくり

#### 【将来像】 1 知りたいことをわかりやすく、多様な方法で提供できています

高齢者福祉や障がい者福祉の制度、子育てに関する情報など福祉保健に関する必要な情報が、必要とする人に的確に届いています。サービスやサポートを必要とする人は、十分な情報に基づいて福祉保健サービスやサポートを選び自分らしい暮らしを送っています。

#### 目標 1： 福祉・保健の情報発信者は分かりやすい内容の情報を適切に発信します。

#### 行動

- 行政は情報の利用者が求めるニーズを把握し、分かりやすい福祉保健関連情報の内容や表現、分類の研究をすすめます。
- 民間福祉施設、地域など福祉保健関連情報の発信者は、分かりやすい情報発信に向けて工夫します。

#### 【実施手段（目標達成のための手段）】

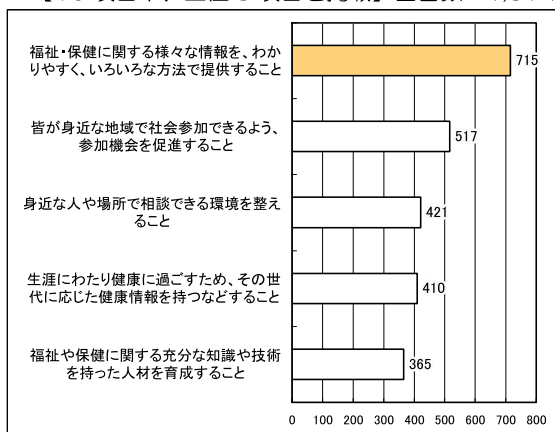
△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内容	年度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
高齢者・障害者福祉保健情報提供事業	高齢者・障がい者・難病患者一人一人の状況に合わせたサービスの情報を、区ホームページや区役所サービス課相談窓口、福祉施設等で提供します	○ 実施	→	→	→	→	サービス課
介護保険情報の提供	介護保険利用者を対象に、事業者の情報やケアプラン受付可能状況などの情報提供を行います。	○ 実施	→	→	→	→	サービス課
福祉情報の発信への住民参加	福祉情報の発信過程への区民参加や、発信した福祉情報についての区民意見反映等の仕組みを検討します。	△ 検討	→	○ 実施	→	→	区社会福祉協議会

#### 区民アンケートでは、

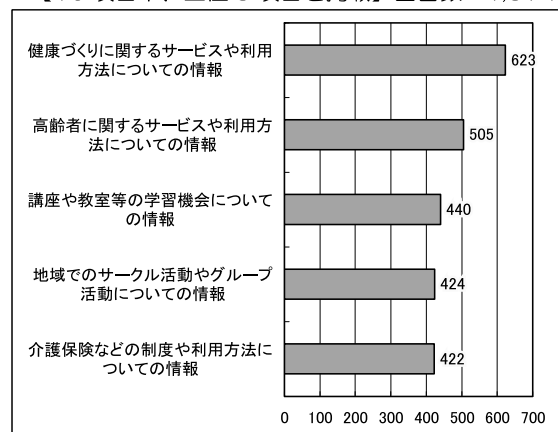
問 今後、地域福祉を推進していくために、区民、事業者、行政などが共に取り組んでいくものとして、どのようなことが重要だと思いますか。【複数回答】

【10項目中、上位5項目を掲載】回答数=1,574



問 福祉や保健に関する情報で、知りたいと思う情報はどのようなものですか。【複数回答】

【10項目中、上位5項目を掲載】回答数=1,574







**目標 2： 新鮮な福祉・保健情報を多様な媒体と手段できめ細かに情報提供します。**

**行 動**

- 地域の福祉保健に関する情報拠点の整備については、民間と行政の協働により取り組みを進めます。
- 民間の福祉保健関連情報については、行政が研究の場を設け民間と協働で取り組みを進めます。

**【実施手段（目標達成のための手段）】**

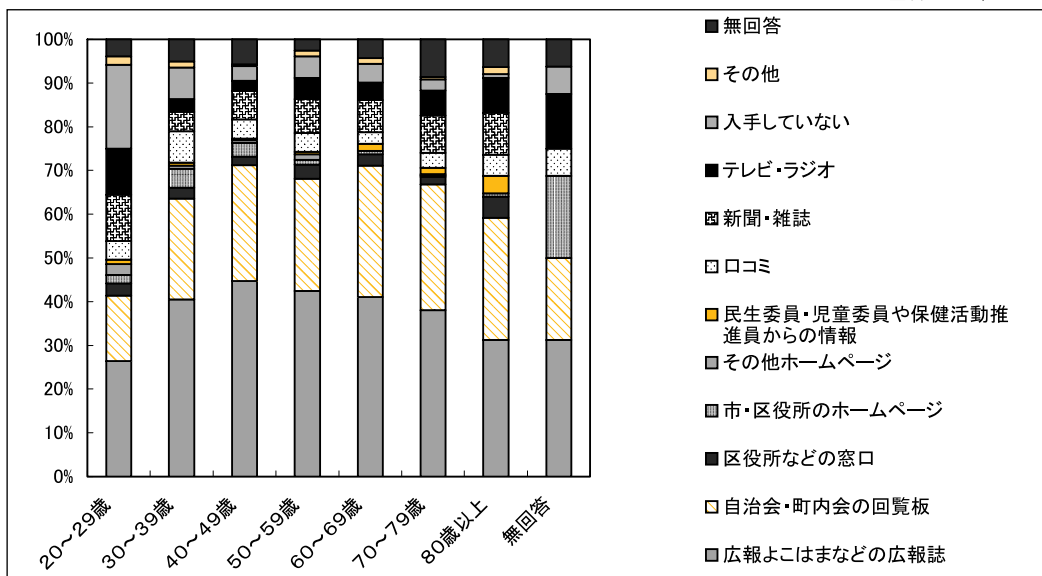
△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
 ○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
「福祉保健センターからのお知らせ」発行事業	福祉保健センター事業を広報よこはまと共に配布し、事業内容を広く区民に案内します。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課
最新で役立つ福祉情報の提供	地域福祉情報紙「福祉かなざわ」や社協活動紹介リーフレットのリニューアル版を発行します。また、区社協ホームページの充実を図ります。	△ 検討	○ 実施	→	→	→	区社会福祉協議会
民間福祉情報収集提供機能の検討	地域ケアプラザをはじめ機関・団体等と連携して、民間福祉情報の収集・提供機能について検討します。		○ 実施	→			区社会福祉協議会

**区 民 アン ケ ー ト で は 、**

回答数=2,504

問 福祉・保健分野の情報をどのような手段で得ることが一番多いですか。【複数回答】



## 【将来像】 2 相談したいことが、身近な人・身近な場で行える環境ができています

福祉・保健に関する生活上の困りごとを解決するために、身近に相談のできる人がいます。また、身近な所に相談する場があり、出向くことが難しい人は自宅などでの相談を受けることができます。

### 目標 1： 身近なところに気兼ねなく行ける相談先を整えます。

#### 行動

- 住民に身近な地域の中で相談を担う人と相談機関・区役所が連携し、福祉・保健サービスが必要となる人に予防的な対応ができるようにします。
- 相談の担い手は地域に存在します。相談の担い手の育成は区役所と区社会福祉協議会が標準的な研修モデルを定め、民間福祉施設などによる研修の取り組みを進めます。

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

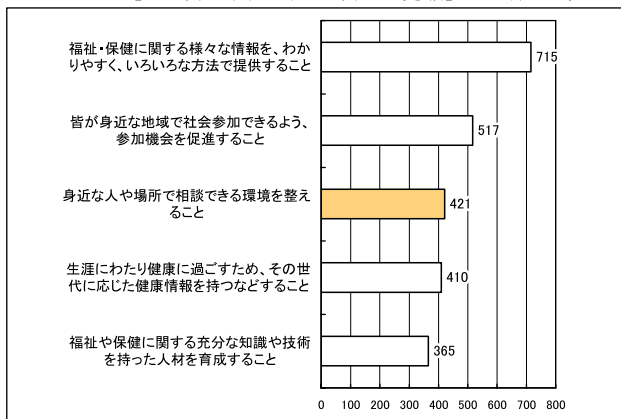
#### 【実施手段（目標達成のための手段）】

取り組み・活動の名称	内容	年度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
養育ネットワーク事業	町内会館等の身近な所で地域育児教室や地域子育て交流会を保健師が開催し、親同士の交流や情報交換を支援します。	○ 実施	→	→	→	→	サービス課
子育て支援推進事業	地区センターで地域の子育て経験者が、また、保育所センター園で専任職員が、養育者や子育てサークルの支援を行います。	◎ 充実	→	→	→	→	サービス課
民生委員・児童委員事業	地域における身近な相談者である民生委員・児童委員の活動を積極的に周知すると共に、活動しやすい環境づくりを進めます。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課
総合相談調整機能の充実	権利擁護相談を拡充するなど、苦情相談を含めた相談調整機能の充実を図ります。	○ 実施	→	◎ 充実	→	→	区社会福祉協議会
ボランティア相談援助体制の充実強化	コーディネーターのスキルアップ研修や、地区ボランティアセンターの設置等により、相談援助体制を強化します。	○ 実施	◎ 充実	→	→	→	区社会福祉協議会

### 区民アンケートでは、

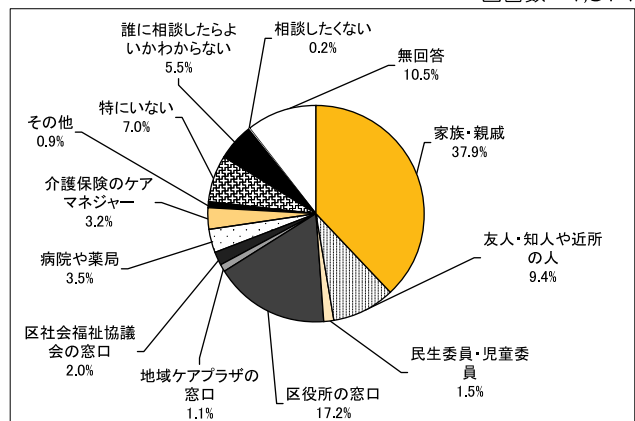
問 今後、地域福祉を推進していくために、区民、事業者、行政などが共に取り組んでいくものとして、どのようなことが重要だと思いますか。【複数回答】

【10項目中、上位5項目を掲載】 回答数=1,574



問 福祉や保健に関する困りごとがある場合、誰に相談しますか。

回答数=1,574





## 目標 2： 待つだけでなく、出向く相談体制を整えます。

### 行動

○区役所や相談機関は、相談をしたい人が希望する場所に出向いて相談に応じる体制の整備に取り組みます。

#### 【実施手段（目標達成のための手段）】

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内容	年度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
訪問指導事業	介護予防の観点から、生活習慣病などで療養中の方、一人暮らしや閉じこもりがちな方、寝たきりの方などを介護している家族等を対象として、保健師・訪問看護師が家庭を訪問し、心身の健康に関する相談に応じながら、保健指導を行います。	○ 実施	→				サービス課
介護相談員派遣事業	介護サービスの場（施設）を訪ね、サービス利用者の話を聞き、相談に応じる等の活動を行う介護相談員を派遣します。	○ 実施	→				サービス課

#### 策定委員会（分科会）、区民アンケートでは、

- ・相談は待っているだけではダメであり、相談に行けない人の為のアウトリーチが必要。
- ・相談とはいろいろな形が考えられるが、来てもらうだけでなく赴く仕組みが必要である。
- ・相談窓口の雰囲気によって圧倒され、十分な相談ができないということがある。



策定委員会  
C分科会（情報・相談）



区民アンケート  
（自由意見）

出産してすぐに保健師さんが来てくれて色々な話をしたのはとても心が楽になり今では良かったと思っている。

子供がいる家庭に定期的に相談（話を聞いたり情報交換）に来てくれるなど。家の中を見れば大概わかる事があると思う。ベテランの方が回って親としてあるべき姿、子供に対しての色々なアドバイスの話をしてもらえたら良い。どこかの会場を借りての講演会も悪くないが行かなければならない。見るもの回るものとしてあれば良いと思う。

## Ⅳ ネットワークの活性化

### 【将来像】 1 支援機関が連携して福祉サービスを提供しています

支援機関やボランティアなどが、相互に連携（ネットワーキング）を進めて、サポートが必要な人が「自分らしい」暮らしを送れるように、一人ひとりの地域生活を多くの視点で見守り、支えています。

#### 目標 1： 支援者やボランティアを住民の身近な存在にします。

#### 行 動

- 生活に身近な地域社会で、援助が可能となるよう、多様な機関で支援者やボランティアの育成を効果的に行います。
- 支援者やボランティアとをつなぐコーディネーターなどを養成し、コーディネートの仕組みを身近なところにつくります。
- 多様な主体による福祉保健活動の拡充を図ります。
- 地域の福祉保健活動を広く地域住民に案内します。

#### 【実施手段（目標達成のための手段）】

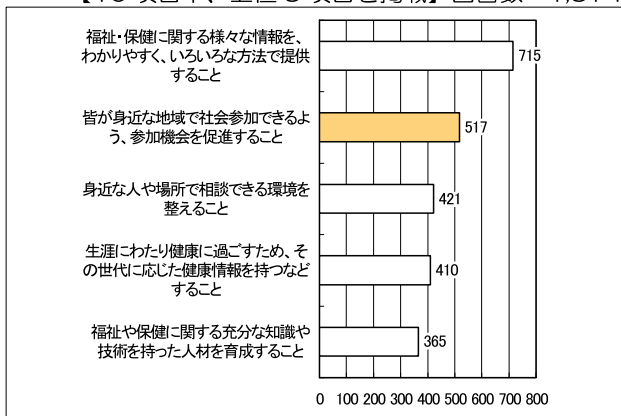
△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
生涯学習支援センター運営事業	生涯学習活動を通じた地域コミュニティの醸成を図るため、区民の生涯学習活動の支援を行います。	◎ 充実	→	→	→	→	地域振興課
災害ボランティアネットワークの推進	活動のPRとともに、ボランティアの養成・育成や、関係機関・団体の連携を進めます。	◎ 充実	→	→	→	→	区社会福祉協議会
インフォーマルサービスの開発事業	障がい者ケアマネジメントに資するような、インフォーマルサービスを開発します。	△ 検討	○ 実施	→	→	→	区社会福祉協議会

### 区 民 アン ケ ー ト で は 、

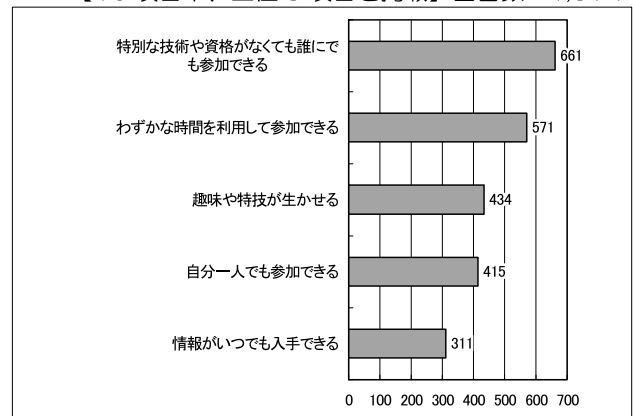
問 今後、地域福祉を推進していくために、区民、事業者、行政などが共に取り組んでいくものとして、どのようなことが重要だと思いますか。【複数回答】

【10項目中、上位5項目を掲載】 回答数=1,574



問 今後地域・ボランティア活動に参加するにはどのような条件が揃うと良いですか。【複数回答】

【10項目中、上位5項目を掲載】 回答数=1,574





**目標 2： 領域やサービス体系を超えた支援体制を構築します。**

**行 動**

- 多様な担い手が集い、課題ごとに話し合える場を住民と行政の協働でつくります。
- 地域ケアプラザ等の地域の様々な活動拠点で、幅広い活動が展開できるようにします。
- 地域と行政の協働によるきめ細かな支援体制を構築していきます。

**【実施手段（目標達成のための手段）】**

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
 ○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
在宅高齢者虐待防止事業・認知症高齢者地域支援事業	虐待や認知症など高齢者に関する問題に対し本人や介護者への相談や支援を行います。	○ 実施	→	→	→	→	サービス課
相談支援事業	地域生活支援会議担当者会議において相談支援体制整備にむけて検討や研修を重ねていきます。	○ 実施	→	→	→	→	サービス課
子育てしやすい地域づくり	連絡会・ボランティア講座の開催で、児童虐待等が未然に防げ、育児が楽しめる地域づくりを推進します。	◎ 充実	→	→	→	→	サービス課
地域における支えあいのネットワークの充実	地域ケアプラザが開催する地域支えあい連絡会などにより、日常生活圏域における支えあいのネットワークを充実させます。	○ 実施	→	→	→	→	福祉保健課
各種連絡会への運営支援・参画	福祉保健団体や機関の連絡会などの運営に、情報提供・助言・助成など、支援・参画します。	○ 実施	→	→	→	→	区社会福祉協議会

**策定委員会（分科会）・区民アンケートでは、**

一人ひとりの求めるものは違うが、援助側は縦割りで対応している。



策定委員会  
B分科会  
(支えあい・助け合い)



区民アンケート  
(自由意見)

特養、老人ホーム、ケアプラザなどが多く建設されているが、地域との交流がとれていないような気がする。

## 【将来像】 2 保健に関する総合的な連携ができています

学校保健、職域保健、地域保健が連携することにより、区民のライフステージに沿った健康づくりの支援体制ができています。地域保健は学校保健や職域保健に、金沢区三師会と協力体制のもと地域の健康情報や技術的知識を提供し、区民の健康を守る保健のネットワークができています。

### 目標 1： 学校保健や職域保健、地域保健のトータル的な連携策を考えます。

行 動

○学校保健、職域保健、地域保健の連携により、個人が取り組む健康づくりを支援する環境づくりを推進します。

#### 【実施手段（目標達成のための手段）】

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
学校保健との連携の充実	小学校との連絡会を開催し、児童の健康づくりを推進します。	△ 検討	○ 実施	→			福祉保健課
職域保健との連携の充実	企業で健康管理を担当する人々と情報交換を行い、連携を強化します。	△ 検討	→	○ 実施	→		福祉保健課

区民アンケート・策定委員会（分科会）では、

- 地域保健、学校保健、職域保健はそれぞれ分断されている。子ども、学生、働く人、地域で生活している人々の健康を守るためそれぞれの分野が連携をとることが課題。
- 地域、職域、学校、まずは課題を整理していく必要がある。
- 区内で、学校、職域、地域保健の顔が見える関係作りから始め、それぞれの健康課題の情報の共有できる体制を作るとよい。
- 各々の医師の連携が必要。医師は病気の重傷度を見極めて、学校・職域から、地域へ上手くつないでほしい。
- 1次予防に力を入れるためにも、健康づくりに関する情報のネットワーク化を図るとよい。



策定委員会  
A分科会（健康・保健）

## 地域の活動紹介コーナー 私たちの街の良いところ（取り組み）

### パート2 《能見台地区、金沢シーサイドタウン地区、金沢東部地区、金沢中部地区、金沢南部地区、金沢地区》

住民や地域の活動について平成16年度に実施した地区懇談会で参加された方々から出されたご意見の一部を以下にご紹介します。

- 各子ども会同士が交流会を行っています。
- ボランティアグループ同士が交流会を行っています。
- 金沢緑道の歩道コースがウォーキングコースとしておすすめです。
- 子どもを遊ばせやすい公園があるなど、公園が多い街です。
- 近所の仲間がいて、住みやすい街と感じています。
- 自治会とのお付き合いが上手くできている街です。
- 連合町内会と地区社協の組織が独立した体制となり、地区の各組織・団体の代表とボランティアと一緒に各種事業の運営に当たることで、活発な地区社協活動が行われています。
- 乳幼児と親の集いの広場“どんぐり”は、子育て中の母親同士の出会いの場となっているほか、地域活動をする様々な人たちとの交流を生み出しています。
- 学校、児童・生徒と地域が行事や授業を通して積極的に交流しています。
- 金沢南部地区は地理的・歴史的環境に恵まれ、連合町内会・地区社会福祉協議会が一体となって活動している地域です。
- 町ぐるみ健康づくり事業も継続することにより、人と人とのふれあい、地域の活性化に役立っています。地区内に於ける各種行事も活発に行われ、高齢化率の高い地域ではありますが、これからも安心して住み続けたいと思えるよう、より一層のふれあい・支えあいの街づくりを推進していきます。
- 連合町内会館で会議や行事を行い、交流の場として多くの住民が利用しています。
- 高齢者のために「ひとりぐらし会食会」を年3回連合町内会館で開催し、各回約150名が参加及び交流しています。
- 65歳以上の高齢者に対しお赤飯を配るなどの交流を行っている町内会があります。
- 地区社協による子育て支援として、「友達つくろう」を毎月1回開催し、毎回多くの親子の参加者に喜ばれています。
- 古くからこの地に住む人が多く、自然にふれあいや支えあいを行っている町内会があります。
- スポーツのできる公園が多く、健康体操、ウォーキングなどする人が増えています。



- 盆踊り大会に250～300人も参加する町内会があります。
- 色々なグループの活動が盛んな街です。
- ボランティアによるサマーフェスタが定着し、活発な交流のある街です。
- 熱心で有能なボランティアが揃っており、配食サービスや在宅福祉サービス等の事業を立ち上げ、現在まで順調な成果を上げています。
- 恒例の福祉お花見バザーは参加者も非常に多く、仲良く楽しく実施し、その収益は地区社会福祉協議会の大きな財源となっています。



# V 人材(財)の育成

## 【将来像】 1 地域住民が福祉・人権に対し意識し、理解しています

子どもの頃から、一人ひとりが異なっていることを、お互いに認めあい、自分と異なる人をも尊重できるようになっています。

### 目標 1： 人権に関する啓発活動をすすめます。

行 動

○子どものうちから誰もが人として尊重される人権教育（啓発）を行います。

#### 【実施手段（目標達成のための手段）】

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
金沢区人権講演会	区民一人ひとりが人権尊重について正しい理解と知識を深めることを目指して、人権講演会を各地区センターへ出前で実施します。	○ 実施	→				総務課
福祉チャレンジ事業	区内小学校における福祉体験学習を地域ケアプラザと協働で進めます。また、モデル校を指定し、推進します。	○ 実施	→				福祉保健課
福祉教育の推進	各種研修・講座を開催します。また、学校・職場・地域等が実施する研修・講座を支援します。	○ 実施	→				区社会福祉協議会

### 策定委員会（分科会）・区民アンケート・手作り計画では、

- 地域にいろいろな人がいるという意識を持ち、向上させることが必要である。
- 福祉の心を子どもたちに伝える福祉教育が重要である。



策定委員会  
B分科会  
(支えあい・助け合い)



区民アンケート  
(自由意見)

- 子どもたちに縦のつながりを持たせ、少しでも他人を思いやる気持ちの大切さを教えて欲しい。
- 子どもたちそして親たちの無関心さがなくなるように。
- 未来に向かって子どもたちの道徳、人間教育に力を注ぐべきだと思う。

#### 【手作り計画で出された目標】

- ボランティア部会  
目標1  
『ボランティアの担い手を増やす』
- 当事者団体部会  
目標2  
『相手の思いが互いに分かる  
心のふれあい』



**目標 2： 地域住民の相互理解をすすめます。**

**行 動**

○ボランティア活動が実施しやすい地域の土壌を作ります。

**【実施手段（目標達成のための手段）】**

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
金沢文庫駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区事業	金沢文庫駅を中心とした地区について、施設のバリアフリー化等の整備の推進及び区民の福祉への理解を促進します。また、区民サポーターを充実します。	○ 実施	→				福祉保健課
福祉教育の推進（再掲）	各種研修・講座を開催します。また、学校・職場・地域等が実施する研修・講座を支援します。	○ 実施	→				区社会福祉協議会

**策定委員会（分科会）・区民アンケート・手作り計画では、**

- 地域の意識を高め、行動も伴いながら、地域全体が良くなればと思う。
- ボランティア活動がしやすい地域の土壌作りをしてほしい。



策定委員会  
B分科会  
(支えあい・助け合い)



区民アンケート  
(自由意見)

- 社会と個人、協力と非協力、困難がある。どのように対応したらよいか分からない社会にはしたくない。
- 住民同士の連帯があると思うので、もっと密になるような取組があると互いに助け合える雰囲気が高まってくると思う。
- 人間らしく生きるためにも、地域福祉についてみんなで考え協力していく必要がある。

**【手作り計画で出された目標】**

- ボランティア部会  
目標 4  
『助けあいのできる地域にする』

## 【将来像】 2 十分な知識と技術をもった人材の育成ができています

福祉・保健に関する相談を必要とする人に適切な知識と技術を備え、相談者から信頼をされる相談の受けてとなる人材の育成がされています。

### 目標 1： 相談先には適切な知識と技術を持った人材が配置されるようにします。

#### 行 動

- 相談を担う者の研修の充実を図ります。
- 研修をシリーズ化するなど、参加しやすいものとします。

#### 【実施手段（目標達成のための手段）】

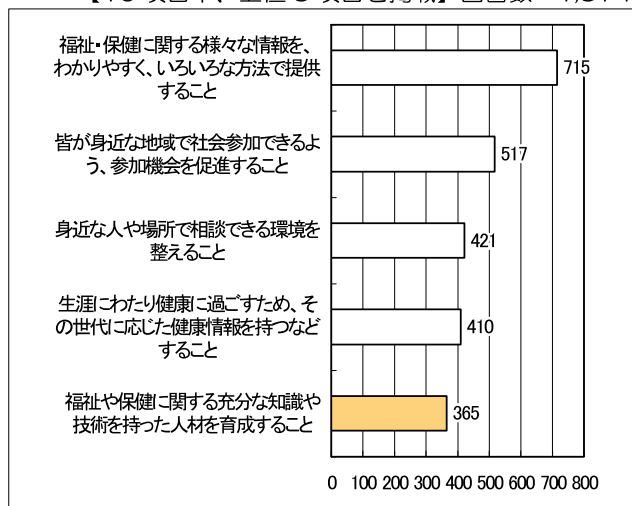
△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
ケアマネジャー等の支援	区内の居宅介護支援事業者、ケアマネジャーを対象に、適切な情報提供、相互の連携推進、資質の向上を図るため、連絡会、研修会等を開催します。	○ 実施	→	→	→	→	サービス課
研修ネットワーク事業	福祉保健活動を行っている方を対象に行っている各種機関の研修のネットワーク化を図ります。	○ 実施	→	◎ 充実	→	→	福祉保健課
相談援助体制の充実強化	相談援助研修への参加等により、適切な知識・技術を習得した質の高い相談員を養成・育成します。	○ 実施	→	→	→	→	区社会福祉協議会

### 区 民 アン ケ ー ト で は 、

問 今後、地域福祉を推進していくために、区民、事業者、行政などが共に取り組んでいくものとして、どのようなことが重要だと思いますか。【複数回答】

【10項目中、上位5項目を掲載】 回答数=1,574



区民アンケート  
(自由意見)

○障がい児を持つ家族は悩みが付き  
ない。相談できる人、スタッフ、そ  
してその人たちには「相手を理解す  
る力」を持った人材をあてて欲しい。  
そういう教育訓練をしてもらいたい  
と思う。





**目標 2： 情報の収集・提供、相談を行う者は個人情報適切に保護・管理します。**

**行 動**

- 福祉・保健にかかわる個人情報を扱う研修の充実を図ります。
- 金沢区における福祉保健活動従事者全てが個人情報を適切に取り扱えるようにします。

**【実施手段（目標達成のための手段）】**

△：事業の推進に向け検討し、条件が整い次第実施します  
 ○：事業を実施し、推進します ◎：事業の充実を図ります

取り組み・活動の名称	内 容	年 度					協働を推進する所管等
		18	19	20	21	22	
個人情報に関する啓発促進	個人情報に関する福祉保健活動者向けの意識啓発事業を検討します。	△ 検討	→				福祉保健課

**策定委員会（分科会）では、**

福祉・保健情報に関する情報の発信者は、その情報に個人情報が含まれる場合、適切に保護・管理しなければならない。



策定委員会  
C分科会（情報・相談）

## 地域の活動紹介コーナー 私たちの街の良いところ（取り組み）

### パート3《六浦東地区、六浦地区、六浦西地区、釜利谷地区》

住民や地域の活動について平成16年度に実施した地区懇談会で参加された方々から出されたご意見の一部を以下にご紹介します。

- ケアプラザと保育園とが連携し、園児と高齢者が共に過ごす時間を持っている地区もあります。
- 学校の通学路に子ども110番の家が多くあり、子どもがトイレを貸してもらうなど、実際に活用されています。
- 生活の利便性があり、近隣とのおつきあい(顔の見える関係)が肩肘張らずにできる地域です。
- 食事や買物の介助、庭の手入れなど高齢者に対する支援が活発な地区があります。
- 子どもと高齢者が昔遊びや子ども会の手助けなどを通して交流している地区があります。
- 近所づきあいがよく、お隣どうしの助け合いを自然に行っている町内会があります。
- 月1回、町内会長同士の連絡会議を和気藹々と行っています。
- 高齢者が地域を支えています。
- 高齢者の見守りを地域で行っています。
- 地域に障害者の施設があり引っ越してくる人が多い。
- 地域で子どもたちを見守り、学校を支えています。
- 若い人も町内の役員をしています。



- 通学時等も地域で子どものことを面倒みてくれる。(学校の正門や交差点等)
- 配食、散歩、送迎、相談など障害者を支えるグループがいる地区があります。
- 高齢者のサークルが盛んで、元気に交流している地区があります。
- 公園の清掃が行き届いています。また、スポーツ等でよく利用されています。
- 子どものためのフリースペースをコミュニティハウスで行っています。
- 児童、生徒など年齢を超えた子ども間のつながりのある地区があります。
- 子育て世代のグループが多く、子育て支援を活発に行っている地区があります。
- 高齢者の間で様々な集まりが活発に行われている地区があります。
- お祭りなど子ども会が積極的に活動している地区があります。
- 健康づくりのためのウォーキングや健康体操などを積極的に行っている町内会があります。
- 地域ケアプラザの支えあい連絡会において、六浦ボランティアネットワークが始まり、六浦西地区から、31名(平成17年3月現在)がボランティア登録しています。
- ケアプラザの支えあい連絡会において、六浦ネットワーク(ボランティア活動)が始まり、六浦東地区から、現在約20名がボランティア登録しています。
- ボランティア団体である「ヤングボランティア」が人材マップを作成してくれるなど、ボランティア団体が地域のいろいろな行事に活発に参加しています。
- 健康づくりのための環境があり、グループが積極的に活動している地区があります。
- 地域の交流活動が活発で、気軽に声をかけあえる関係ができていく地区があります。



# 3 第3章

## 計画の推進に向けて

### 第1節

計画を確実に推進するために

### 第2節

計画の進行管理と公表

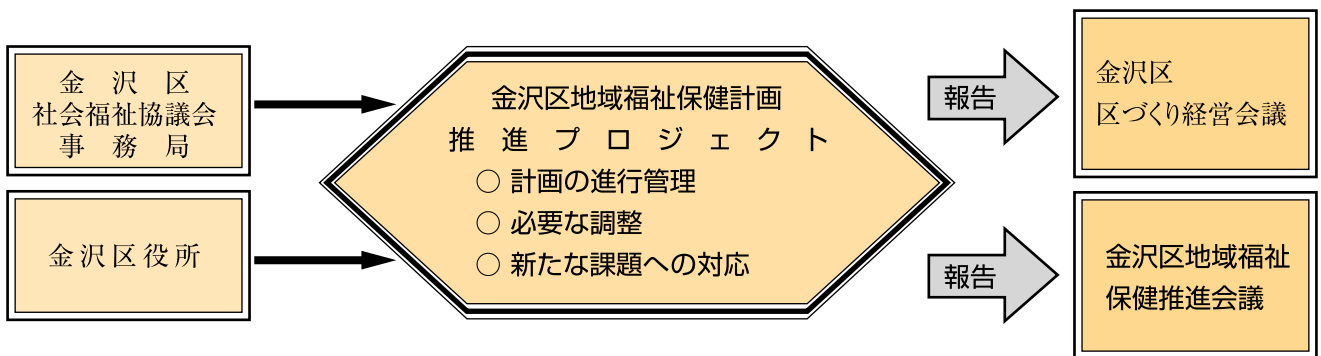
## 第1節 計画を確実に推進するために

金沢区地域福祉保健計画は住民、福祉保健関係団体、事業者の参加を得て策定された計画です。この計画は地域福祉の推進という共通の目的に対して民間が担う取り組みと金沢区役所が担う取り組み、また民間と行政の協働による取り組みが示されています。

この計画を推進していくためには、民間と金沢区役所が協働してそれぞれが担う部分に取り組んでいく必要があります。このため、金沢区ではこの計画を力強く推進することと、計画期間中であっても新たな課題への対応が迅速に行えるようにするため、金沢区役所に「金沢区地域福祉保健計画推進プロジェクト」を設置し、民間と金沢区役所の役割を常に見定めながら必要な調整をおこない、計画に示された取り組みを確実に推進していく体制をつくります。

金沢区地域福祉保健計画推進プロジェクトは、金沢区地域福活動計画の事務局である金沢区社会福祉協議会と金沢区役所の職員で構成します。

### 【計画推進の仕組み】



### 【推進状況の報告】

金沢区地域福祉保健計画推進プロジェクトで確認、検討された内容は金沢区地域福祉保健計画推進会議に報告します。

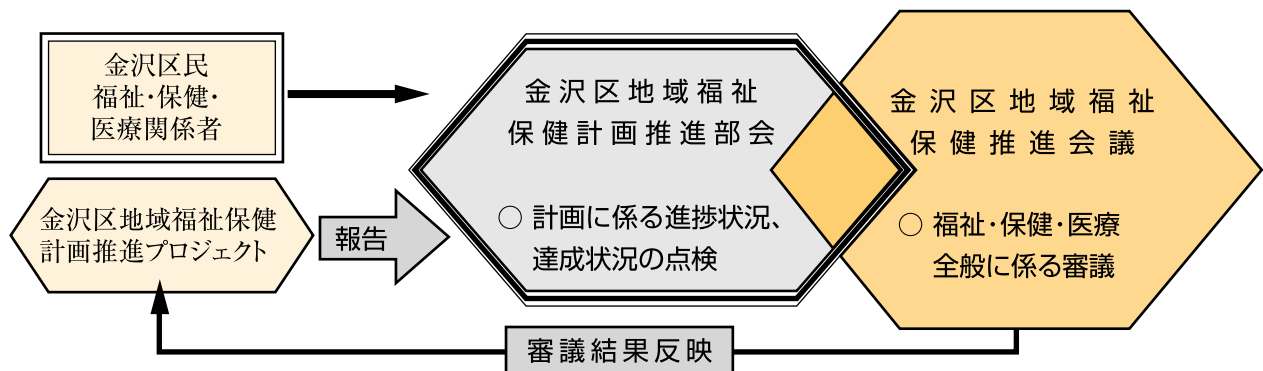
また、市役所各局、事業本部が担当すべき事項については、金沢区区づくり経営会議に報告し、市役所各局、事業本部に積極的に情報の提出を行います。

## 第2節 計画の進行管理と公表

金沢区では金沢区の福祉・保健・医療等の連携及び地域における総合的な福祉保健サービスを円滑に行うために、金沢区内の福祉・保健・医療関係者によって構成される「金沢区地域福祉保健推進会議」を設けています。金沢区地域福祉保健推進会議は定期的を開催され金沢区における福祉保健施策の企画、立案及び評価に関することについて審議しています。

この金沢区地域福祉保健推進会議に審議する部会を設け、今回策定された金沢区地域福祉保健計画の進捗状況及び目標の達成状況を、金沢区民の視点で点検します。

### 【進行管理の仕組み】



### 【進行管理の方法】

計画の進行管理は量的側面、質的側面、プロセスなど多くの面から点検する必要があります。金沢区地域福祉保健計画推進部会では金沢区地域福祉保健計画推進プロジェクトから報告をうけ、以下の事項等について点検します。

- 計画に示された目標の達成状況
- 計画に示された各取り組みの進捗状況
- 区内各地域、団体による取り組みの状況 など

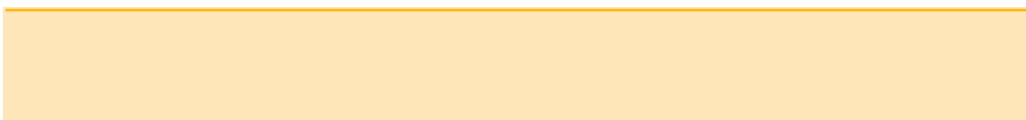
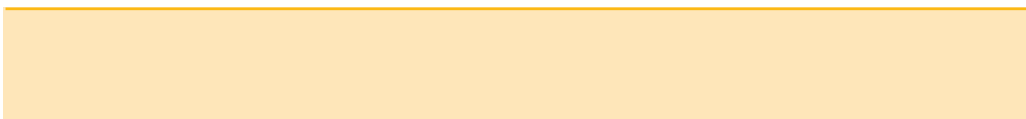
### 【審議結果の公表】

金沢区福祉保健推進会議での審議結果を区ホームページなどで公表します。

DATA  
BASE

資 料 編

---



# 関係法規等の抜粋

## 社会福祉法（抜粋）

（昭和26年3月29日）

（法律第45号）

（市町村地域福祉計画）

第107条 市町村は、地方自治法第二条第四項の基本構想に即し、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画（以下「市町村地域福祉計画」という。）を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、住民、社会福祉を目的とする事業を経営する者その他社会福祉に関する活動を行う者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるとともに、その内容を公表するものとする。

- ① 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
- ② 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
- ③ 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項

（平12法111・追加）

## 「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」

（平成12年度開始、平成15年5月「健康増進法」として法制化）

### 第一 趣旨

健康を実現することは、元来、個人の健康観に基づき、一人一人が主体的に取り組む課題であるが、個人による健康の実現には、こうした個人の力と併せて、社会全体としても、個人の主体的な健康づくりを支援していくことが不可欠である。

### 第二 基本的な方向

21世紀の我が国を、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするため、壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸及び生活の質の向上を実現することを目的とする。

### 第四 地域等における健康づくり運動の推進について

#### 1 計画の策定

運動を効果的に推進するために、各地域等において、住民、健康に関連する多様な関係機関及び関係団体等の参加を得て、地域等の実情に応じた健康づくりの推進に関する具体的な計画（地方計画）が策定される必要がある。

## 用語説明

用 語		説 明
あ	アウトリーチ	手を伸ばす・手を差し伸べるという意味で、社会福祉の実施機関がその職権によって潜在的な利用希望者に手を差し伸べ、利用を実現させるような取り組みのことをいう。
い	インフォーマル（サービス）	公的機関により制度に基づいて行われる公式なものでなく、非公式に行われるもの。家族や友人、近隣、ボランティアなどによって行われる非公式な援助などをいう。
か	金沢区三師会	金沢区で開業している医師会員、歯科医師会員、薬剤師会員を正会員として活動する社団法人（昭和47年10月創立）。休日救急診療所の運営のみならず、介護保険に係わる事業など、金沢区の医療・保健・福祉に密接な事業を行っている。
き	基本健康診査	基本的な健康診査の項目について検査し、疾病の早期発見・早期治療を目指す。これにより生活習慣病予防の保健指導につなげる事業（健康増進法第9条）。
	協働	公的サービスを担う異なる主体が、地域課題や社会的な課題を解決するために、相乗効果をあげながら、新たな仕組みや事業を創りだしたり、取り組むことをいう。
	居宅介護支援事業（所）	介護保険における居宅サービス等を適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等を定めた計画（ケアプラン）を作成すると共に、サービス事業者等と連絡調整、その他の便宜を行う事業。また、居宅介護支援事業を行うことが認められた事業所を居宅介護支援事業所といい、県が認定する。
	拠点型精神障害者 地域生活支援センター	地域で生活する精神障害者の日常生活の支援、相談、地域における交流活動等を行うことにより、精神障害者の社会復帰や自立、社会参加の促進等を図るための施設。
け	ケアマネジメント	生活困難な状態になり、援助を必要とする人が、迅速かつ効果的に必要とされるすべての保健・医療・福祉サービスを受けられるように調整することを目的とした援助展開の方法。
	ケアマネジャー	介護支援専門員のこと。介護保険法に基づき、要介護者等からの依頼を受け、心身の状況や環境などの生活全般を総合的に把握し、最も適切な介護保険サービスを組み合わせたサービスの種類、内容等を定めた計画（ケアプラン）を作成する専門家。
	健康手帳	老人保健法に基づき、40歳以上を対象に市町村で作成されている。健診の結果や、健康状態・医療の記録などを本人が自分で記載し、健康管理に役立てる目的がある。（横浜市では40～64歳について区役所でお渡し、65歳からは健康手帳と長寿のしおりをセットで送付している）
こ	コーディネーター	支援が必要な人と、支援する人とを結びつけ、その連絡や調整、問題解決に向けての活動を円滑に展開するための人。
	コミュニティビジネス	高齢者支援、子育て支援や子どもの健全育成、環境・資源の保全、商店街活性化など、地域コミュニティの様々なニーズや課題に対応して、市民自らが主体的に、地域の人材やノウハウ、施設、資金等を活かし、継続的に事業を行い、ビジネスの手法で解決していくことで、豊かな地域社会づくりと地域経済の活性化を目指すもの。



用 語		説 明
し	社会福祉協議会	社会福祉法で規定された社会福祉法人であり、指定都市にあっては行政区を単位として社会福祉を目的とする事業を経営する者、社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉事業または更生保護事業を経営する者等の参加を得て、地域福祉の推進を図ることを目的とした自主的団体。
	障がい	「障がい」の表記について、「害」の字には「悪くすること、わざわざい」など否定的な意味があり、「碍」という字が使われることもあるが、同様に「さまたげ、じゃま」などの否定的な意味がある。本計画においては、障がい者に対してより不快感を与えぬよう、固有名詞化されているものを除き、「障がい」と表記することとした。
	食育	一人ひとりが食についての意識を高め、適切な判断を行うことにより健全な食生活を実現し、心身の健康と増進と豊かな人間形成を図ること。（食育基本法でいう食育とは、健全な食習慣の確立、食生活の改善の推進、食文化の伝承などの取り組みを推進する。そのための活動は、多様な主体の参加と協力を得て、連携を図りつつ行うこととされている）
せ	食生活等改善推進員	各区において食生活改善推進員セミナーを修了後、主に食生活を通して健康づくりを推進するため、地域の健康づくりボランティアとして自主活動するグループ。普及啓発活動を行う。
	生活習慣病	従来は成人病と呼ばれてきたが、平成8年（1996）に厚生労働省がこの名称を導入した。生活習慣に起因すると考えられる病気。（心臓病、高血圧、糖尿病、癌、高脂血症など、不適切な食事、運動不足、喫煙、飲酒などによる）
	青少年指導員	地域ぐるみの青少年健全育成を図るため、青少年の自主活動とその育成活動を推進する。自治会・町内会などからの推薦により、市長が委嘱する。
ち	地域ケアプラザ	市民の誰もが住み慣れた地域で健康で安心した生活を営むことができるよう、地域の福祉・保健活動を振興し、福祉・保健サービスを身近な場所で総合的に提供する施設として、横浜市が中学校区に1ヵ所の整備を進めているもの。
	地区社会福祉協議会	住民主体の任意団体で、概ね連合町内会単位で地域福祉の推進を目的に活動する組織。金沢区では14の地区社会福祉協議会が存在する。
ほ	ホームドクター	家族のかかりつけ医。家庭医。
	保健活動推進員	地域の幅広い保健衛生活動、健康増進活動を行い、地域の健康づくりに貢献する。市長の委嘱により、2年の任期で活動する。
	ボランティア連絡協議会	ボランティア活動をしている個人・団体によって構成されている連絡会で、情報交換やネットワーク構築を目的に結成された組織。金沢区における加入団体は20団体で、毎月1回定例の運営協議会を実施し、連絡会としての活動を検討している。

用 語		説 明
み	民生委員・児童委員	民生委員法により、社会福祉増進のため、必要に応じた地域住民の生活状況の把握、援助を必要とする人の相談・助言等を行っている。また、児童福祉法により、児童及び妊産婦について関係行政機関の事務への協力、援助や相談活動等を行う児童委員も兼ねている。自治会・町内会や地域福祉関係の代表者で構成される地区推薦準備会で選出され、市長の推薦を経て厚生労働大臣が委嘱する。
ゆ	友愛活動推進員	支援を必要とする高齢者に対する訪問など、交流や相互扶助活動を、同じ高齢者が行うことにより心と心のつながりを大切に実施している活動。老人クラブからの推薦により、市長が委嘱する。
わ	ワークショップ	もともと「作業場」「工房」などの意味で、アイデアを出し合い意志決定する会議の一種。成果を導き出すことを重視して考えられた手法。今回の計画策定においては、地区懇談会、分科会、手作り計画策定時の手法に用い、地域の中における様々な人たちと関係を持つきっかけづくりを提供する場にもなった。

# 「金沢区地域福祉保健計画」策定のための区民アンケート調査結果の概要

## ◆ 調査目的

平成16年度に策定委員会や地区懇談会等において明確にした重点的なテーマにかかわる項目について、区民の意識や関心、実態などを把握し、金沢区地域福祉保健計画の策定資料とすることを目的として調査を実施した。

## ◆ 調査設計

- (1) 調査地域 横浜市金沢区全域
- (2) 調査対象 金沢区在住の20歳以上の男女
- (3) 標本数 3,500人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- (5) 調査機関 (有) 流通研究所
- (6) 調査時期 平成17年6月30日～7月14日

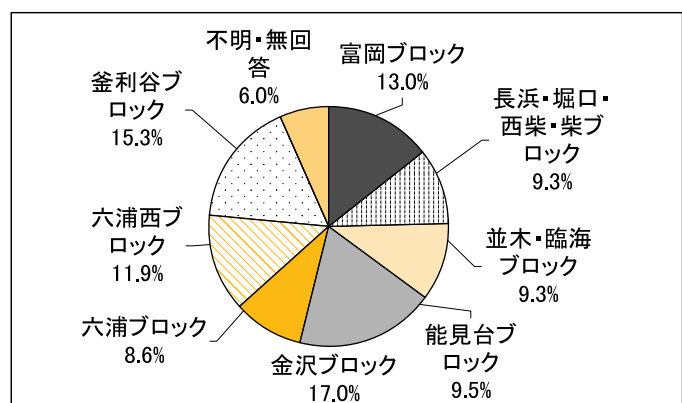
## ◆ 回収結果

項目	標本数	率
標本数(配布数)	3,500人	100.0%
実回収総数	1,574人	45.0%
有効回収数	1,574人	45.0%
無効票数	0人	0.0%

- ・比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出するため、パーセントの合計が100%にならないことがあります。
- ・マルチ回答の設問の集計は、回答者数(票数)に対する回答率で表すため、各項目の比率の合計が100%を上回ることがあります。

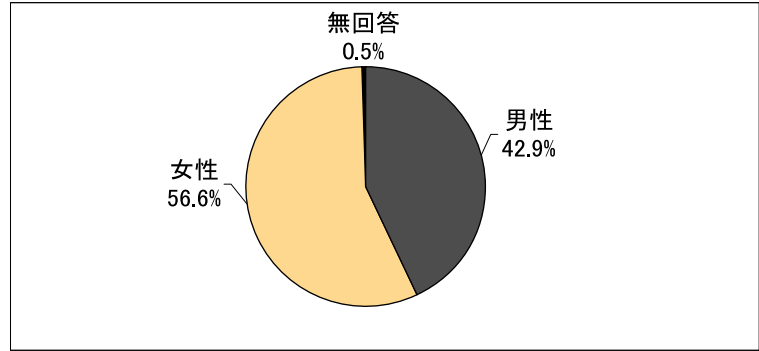
問1 あなたのお住まいの場所をご記入ください。  
(n=1,574)

	件数	比率
富岡ブロック	205	13.0%
長浜・堀口・西柴・柴ブロック	147	9.3%
並木・臨海ブロック	147	9.3%
能見台ブロック	150	9.5%
金沢ブロック	267	17.0%
六浦ブロック	135	8.6%
六浦西ブロック	187	11.9%
釜利谷ブロック	241	15.3%
不明・無回答	95	6.0%
合計	1,574	100.0%



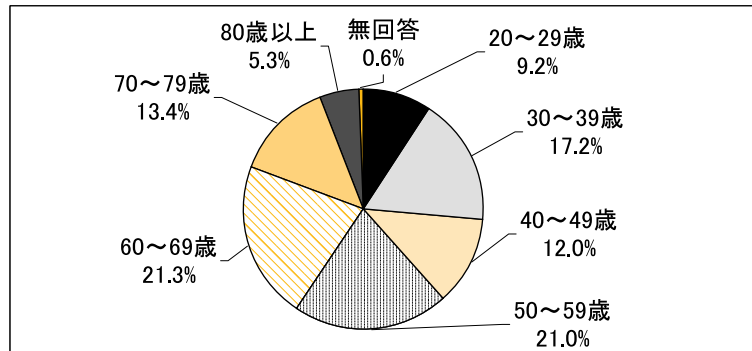
問2 性別はどちらですか。〔〇は1つ〕  
(n=1,574)

	件数	比率
男性	675	42.9%
女性	891	56.6%
無回答	8	0.5%
合計	1,574	100.0%



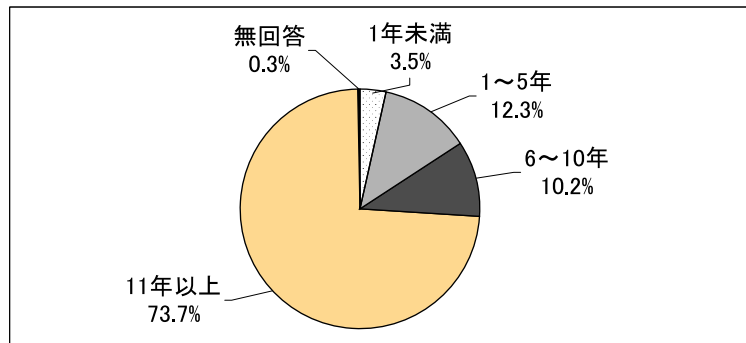
問3 年齢は満何歳ですか。(平成17年6月1日現在)〔〇は1つ〕  
(n=1,574)

	件数	比率
20～29歳	145	9.2%
30～39歳	271	17.2%
40～49歳	189	12.0%
50～59歳	330	21.0%
60～69歳	336	21.3%
70～79歳	211	13.4%
80歳以上	83	5.3%
無回答	9	0.6%
合計	1,574	100.0%



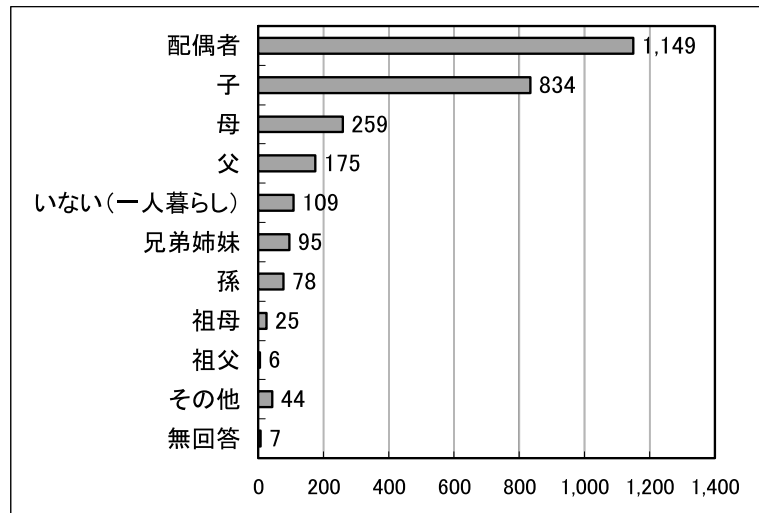
問4 金沢区に何年住んでいますか。(平成17年6月1日現在)〔〇は1つ〕  
(n=1,574)

	件数	比率
1年未満	55	3.5%
1～5年	193	12.3%
6～10年	161	10.2%
11年以上	1,160	73.7%
無回答	5	0.3%
合計	1,574	100.0%



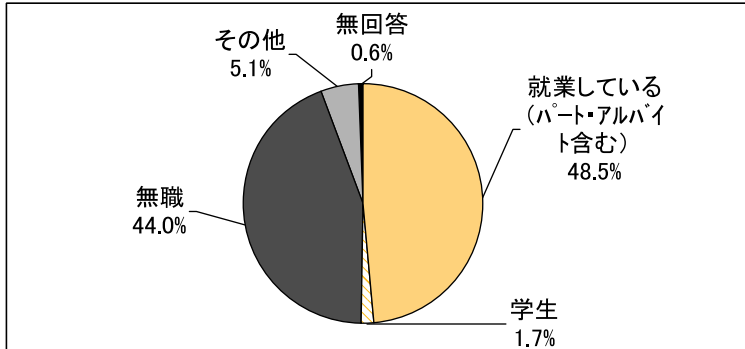
問5 一緒に暮らしているご家族を教えてください。〔あてはまるものすべて〇〕  
(n=1,574)

	件数	比率
祖父	6	0.4%
祖母	25	1.6%
父	175	11.1%
母	259	16.5%
配偶者	1,149	73.0%
兄弟姉妹	95	6.0%
子	834	53.0%
孫	78	5.0%
いない(一人暮らし)	109	6.9%
その他	44	2.8%
無回答	7	0.4%
合計	2,781	176.7%



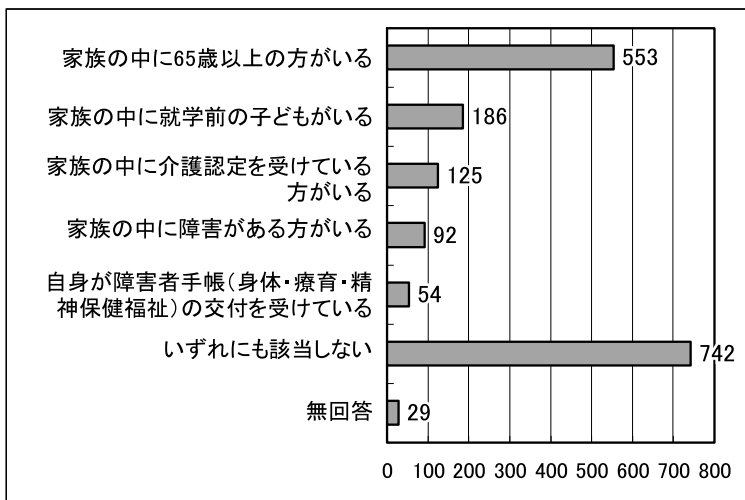
問6 職業は主にどれに該当しますか。〔〇は1つ〕  
(n = 1,574)

	件数	比率
就業している(パート・アルバイト含む)	764	48.5%
学生	26	1.7%
無職	693	44.0%
その他	81	5.1%
無回答	10	0.6%
合計	1,574	100.0%



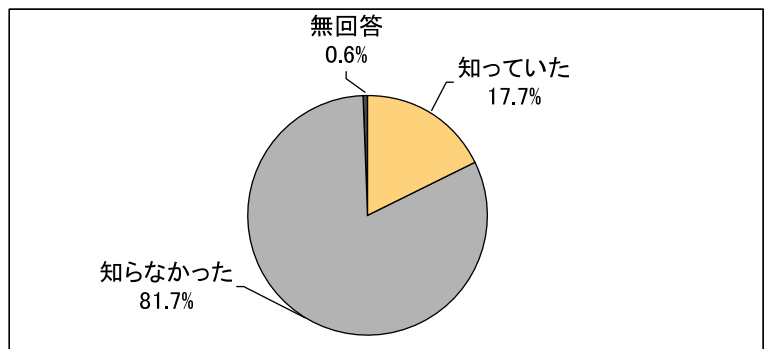
問7 該当するものがありますか。〔あてはまるものすべて〇〕  
(n = 1,574)

	件数	比率
家族の中に65歳以上の方がいる	553	35.1%
家族の中に介護認定を受けている方がいる	125	7.9%
家族の中に就学前の子どもがいる	186	11.8%
家族の中に障害がある方がいる	92	5.8%
自身が障害者手帳(身体・療育・精神保健福祉)の交付を受けている	54	3.4%
いずれにも該当しない	742	47.1%
無回答	29	1.8%
合計	1,781	113.2%



問8 計画づくりを行っていることをご存じでしたか。〔〇は1つ〕  
(n = 1,574)

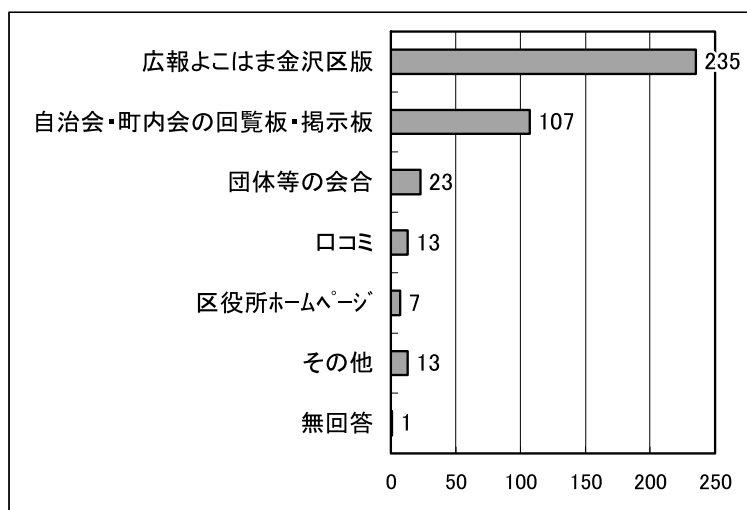
	件数	比率
知っていた	279	17.7%
知らなかった	1,286	81.7%
無回答	9	0.6%
合計	1,574	100.0%



【問8で「知っていた」と回答された方だけの設問】

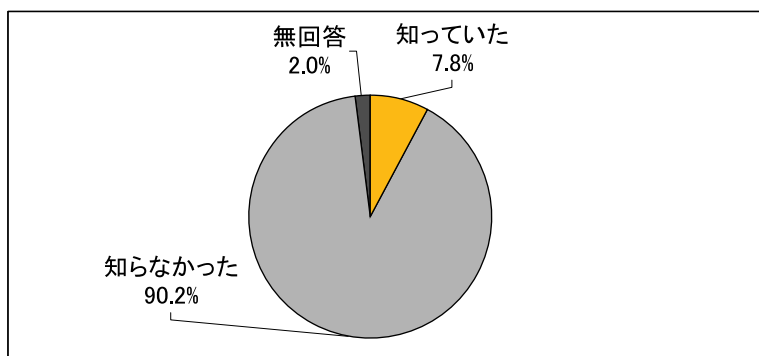
問9 計画づくりを行っていることを何でお知りになりましたか。〔〇は3つまで〕  
(n=279)

	件数	比率
広報よこはま金沢区版	235	84.2%
自治会・町内会の回覧板・掲示板	107	38.4%
団体等の会合	23	8.2%
区役所ホームページ	7	2.5%
口コミ	13	4.7%
その他	13	4.7%
無回答	1	0.4%
合計	399	143.0%



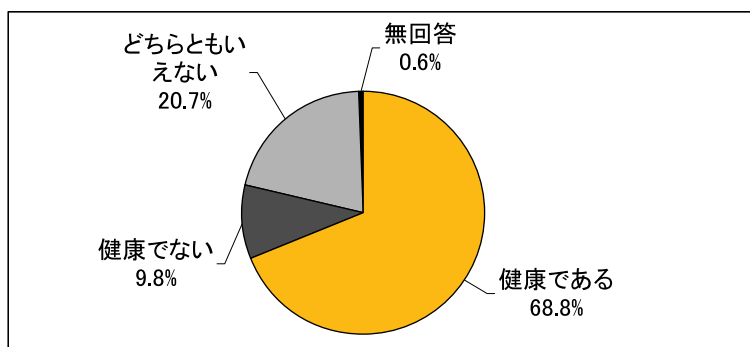
問10 地区懇談会が開催されたことはご存じでしたか。〔〇は1つ〕  
(n=1,574)

	件数	比率
知っていた	123	7.8%
知らなかった	1,420	90.2%
無回答	31	2.0%
合計	1,574	100.0%



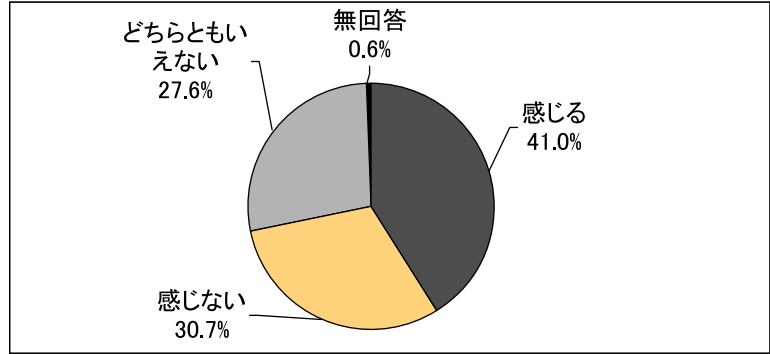
問11 現在、健康ですか。〔〇は1つ〕  
(n=1,574)

	件数	比率
健康である	1,083	68.8%
健康でない	155	9.8%
どちらともいえない	326	20.7%
無回答	10	0.6%
合計	1,574	100.0%



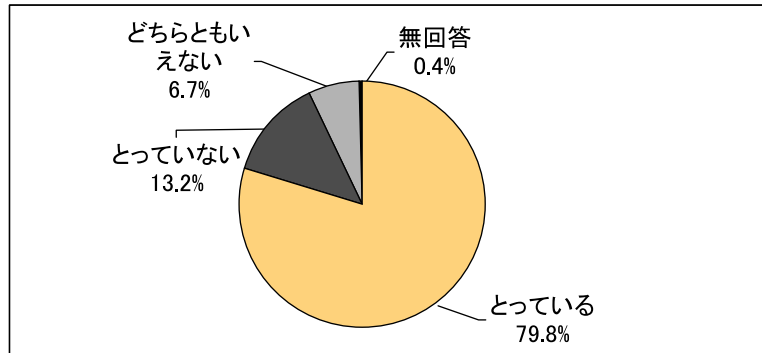
問12 現在、ストレスが溜まっていると感じますか。〔〇は1つ〕  
(n=1,574)

	件数	比率
感じる	646	41.0%
感じない	483	30.7%
どちらともいえない	435	27.6%
無回答	10	0.6%
合計	1,574	100.0%



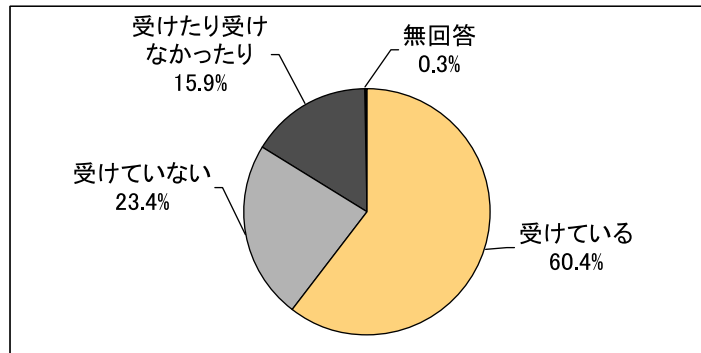
問13 規則的に1日3回食事をとっていますか。〔〇は1つ〕  
(n=1,574)

	件数	比率
とっている	1,256	79.8%
とっていない	207	13.2%
どちらともいえない	105	6.7%
無回答	6	0.4%
合計	1,574	100.0%



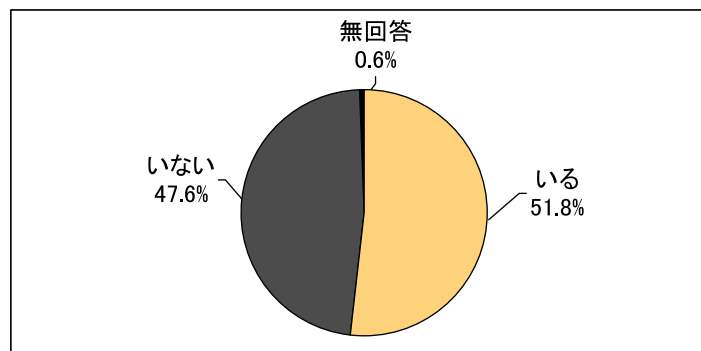
問14 毎年健康診断(または基本健康診査)を受けていますか。〔〇は1つ〕  
(n=1,574)

	件数	比率
受けている	950	60.4%
受けていない	369	23.4%
受けたり受けなかったり	251	15.9%
無回答	4	0.3%
合計	1,574	100.0%



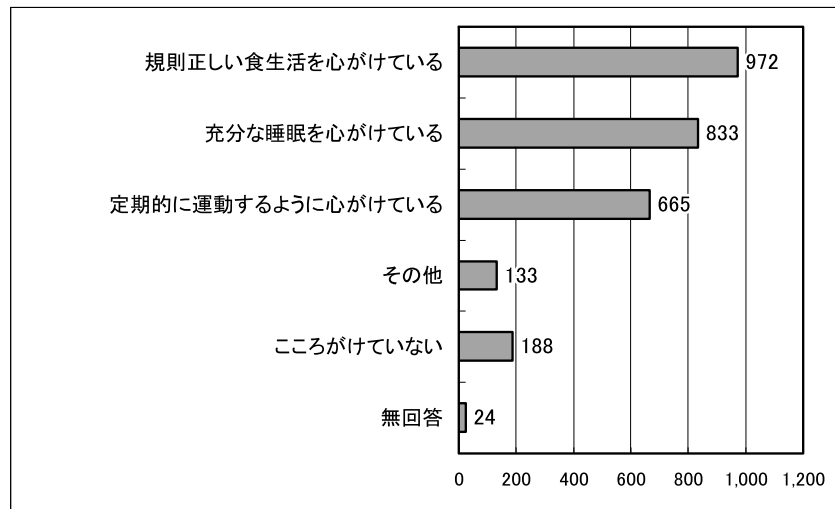
問15 日頃からかかりつけにしている医師(ホームドクター)はいますか。〔〇は1つ〕  
(n=1,574)

	件数	比率
いる	816	51.8%
いない	749	47.6%
無回答	9	0.6%
合計	1,574	100.0%



問16 日頃から、健康のために心がけていることはありますか。〔あてはまるものすべて〇〕  
(n=1,574)

	件数	比率
定期的に運動するように心がけている	665	42.2%
規則正しい食生活を心がけている	972	61.8%
十分な睡眠を心がけている	833	52.9%
その他	133	8.4%
こころがけていない	188	11.9%
無回答	24	1.5%
合計	2,815	178.8%



問17 今後、健康のために何かしたいと思っていることはありますか。〔自由回答〕  
(n=1,574)

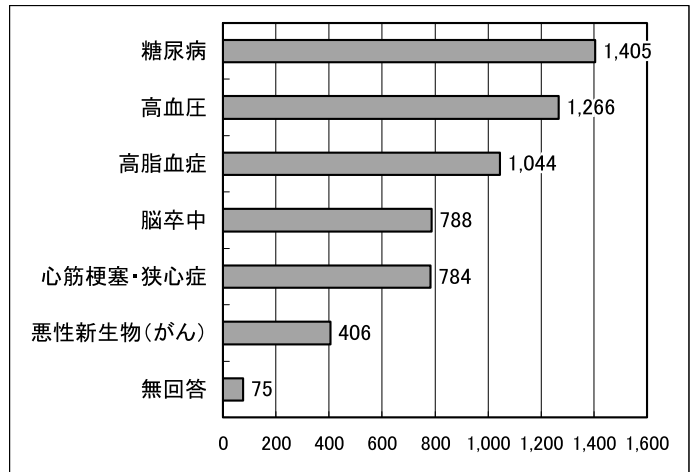
◆主な回答 【同意見 10 件以上の回答】

- ウォーキング、散歩など【同意見 219 件】
- 運動【同意見 219 件】
- 水泳、水中ウォーキングなど【同意見 79 件】
- ヨガ、ストレッチ、体操など【同意見 74 件】
- ジム、スポーツセンターなどに行く【同意見 40 件】
- バランスの取れた食事、野菜を多く取る、減塩など（具体的な食事の内容について）【同意見 33 件】
- 食生活の改善、食生活に気を配るなど【同意見 30 件】
- 十分な睡眠を取る【同意見 25 件】
- ダイエット、体脂肪を落とす【同意見 24 件】
- 規則正しい生活を送る（食事の時間を一定にする、も含む）【同意見 22 件】
- 禁煙、節煙【同意見 21 件】
- ストレスをためない、気分転換をはかる【同意見 18 件】
- 車やエレベーターなどをなるべく使わず歩くようにする、まめに体を動かすなど【同意見 17 件】
- 定期的に健康診断を受ける、体重などを測定する【同意見 17 件】
- ゴルフ【同意見 11 件】
- テニス【同意見 10 件】
- 旅行、レジャーなど【同意見 10 件】



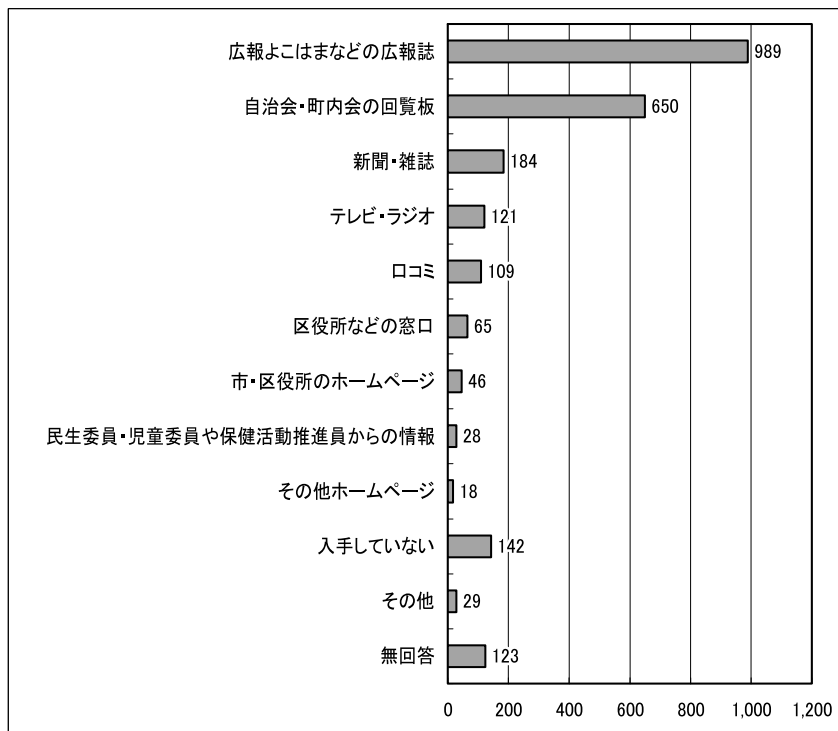
問18 以下の疾病が、生活習慣病といわれていることを知っていますか。〔知っているものすべて〇〕  
(n=1,574)

	件数	比率
高血圧	1,266	80.4%
高脂血症	1,044	66.3%
糖尿病	1,405	89.3%
心筋梗塞・狭心症	784	49.8%
脳卒中	788	50.1%
悪性新生物(がん)	406	25.8%
無回答	75	4.8%
合計	5,768	366.5%



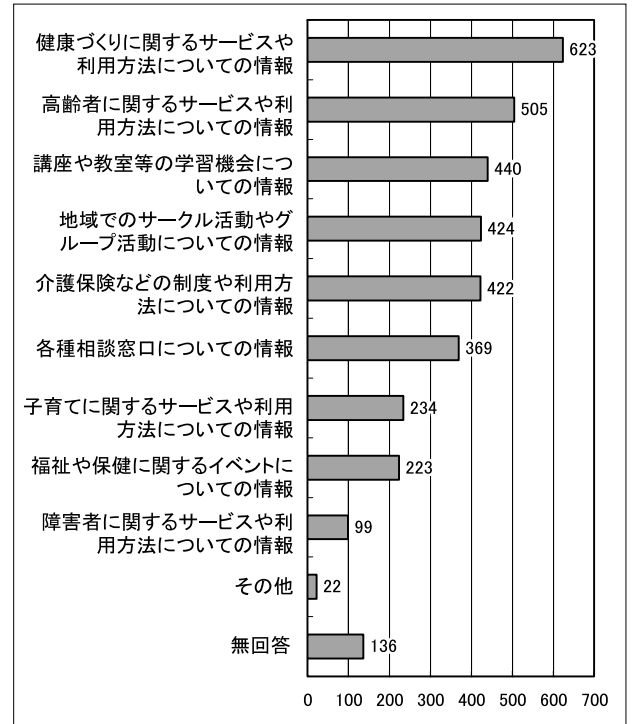
問19 福祉・保健分野の情報をどのような手段で得ることが一番多いですか。〔〇は2つまで〕  
(n=1,574)

	件数	比率
広報よこはまなどの広報誌	989	62.8%
自治会・町内会の回覧板	650	41.3%
区役所などの窓口	65	4.1%
市・区役所のホームページ	46	2.9%
その他ホームページ	18	1.1%
民生委員・児童委員や保健活動推進員からの情報	28	1.8%
口コミ	109	6.9%
新聞・雑誌	184	11.7%
テレビ・ラジオ	121	7.7%
入手していない	142	9.0%
その他	29	1.8%
無回答	123	7.8%
合計	2,504	159.1%



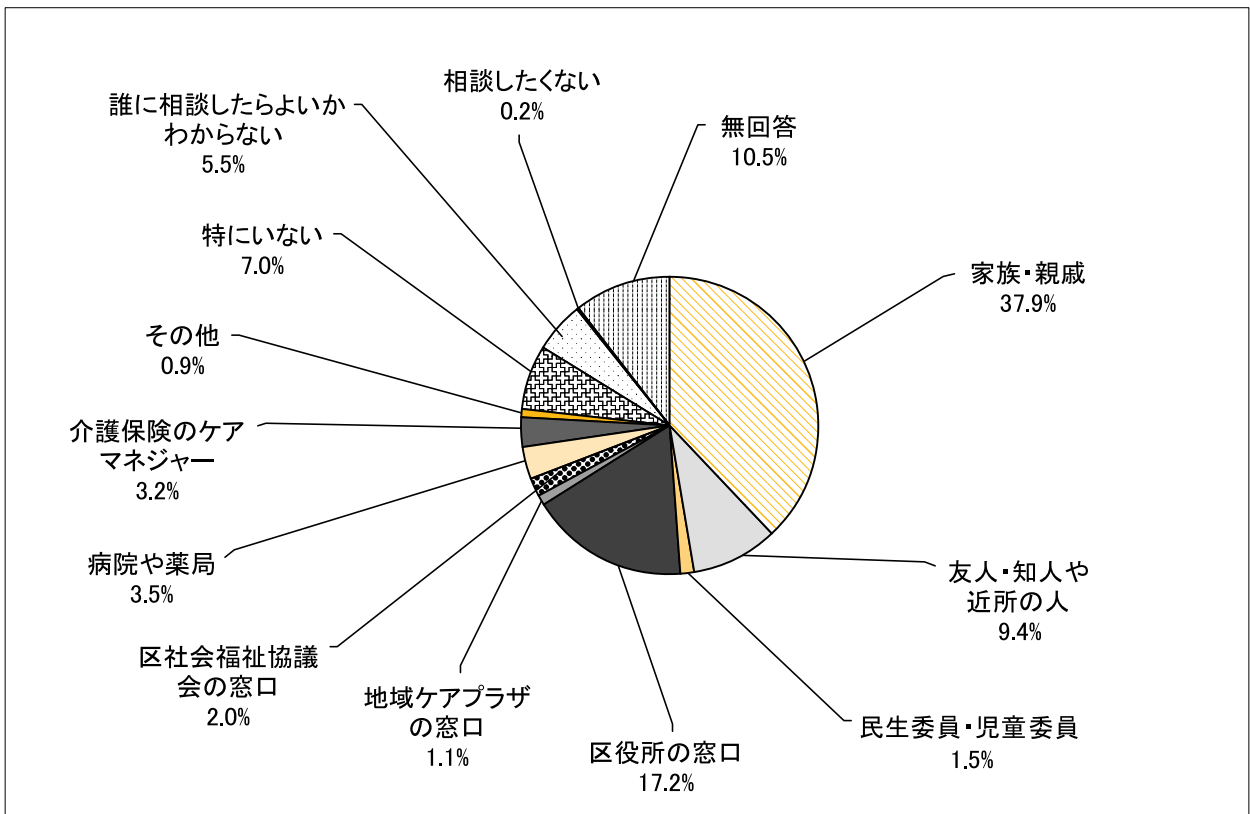
問20 福祉や保健に関する情報で、知りたいと思う情報はどのようなものですか。〔〇は3つまで〕  
(n=1,574)

	件数	比率
地域でのサークル活動やグループ活動についての情報	424	26.9%
講座や教室等の学習機会についての情報	440	28.0%
健康づくりに関するサービスや利用方法についての情報	623	39.6%
高齢者に関するサービスや利用方法についての情報	505	32.1%
障害者に関するサービスや利用方法についての情報	99	6.3%
子育てに関するサービスや利用方法についての情報	234	14.9%
福祉や保健に関するイベントについての情報	223	14.2%
介護保険などの制度や利用方法についての情報	422	26.8%
各種相談窓口についての情報	369	23.4%
その他	22	1.4%
無回答	136	8.6%
合計	3,497	222.2%



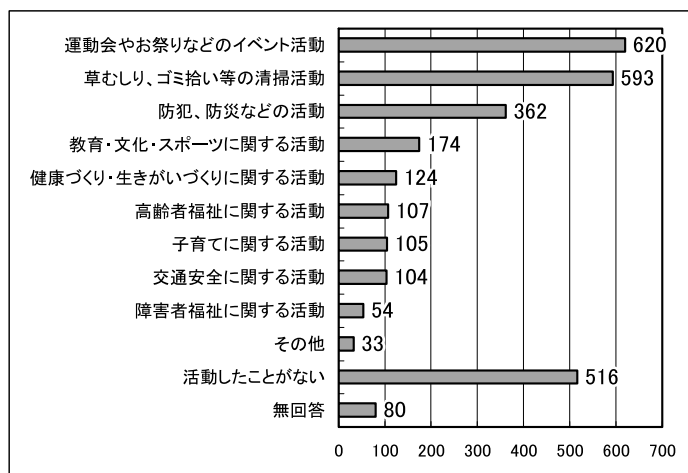
問21 福祉や保健に関する困りごとがある場合、誰に相談しますか。〔〇は1つ〕  
(n=1,574)

	件数	比率
家族・親戚	596	37.9%
友人・知人や近所の人	148	9.4%
民生委員・児童委員	24	1.5%
区役所の窓口	271	17.2%
地域ケアプラザの窓口	17	1.1%
区社会福祉協議会の窓口	32	2.0%
病院や薬局	55	3.5%
介護保険のケアマネジャー	51	3.2%
その他	14	0.9%
特にない	110	7.0%
誰に相談したらよいかわからない	87	5.5%
相談したくない	3	0.2%
無回答	166	10.5%
合計	1,574	100.0%



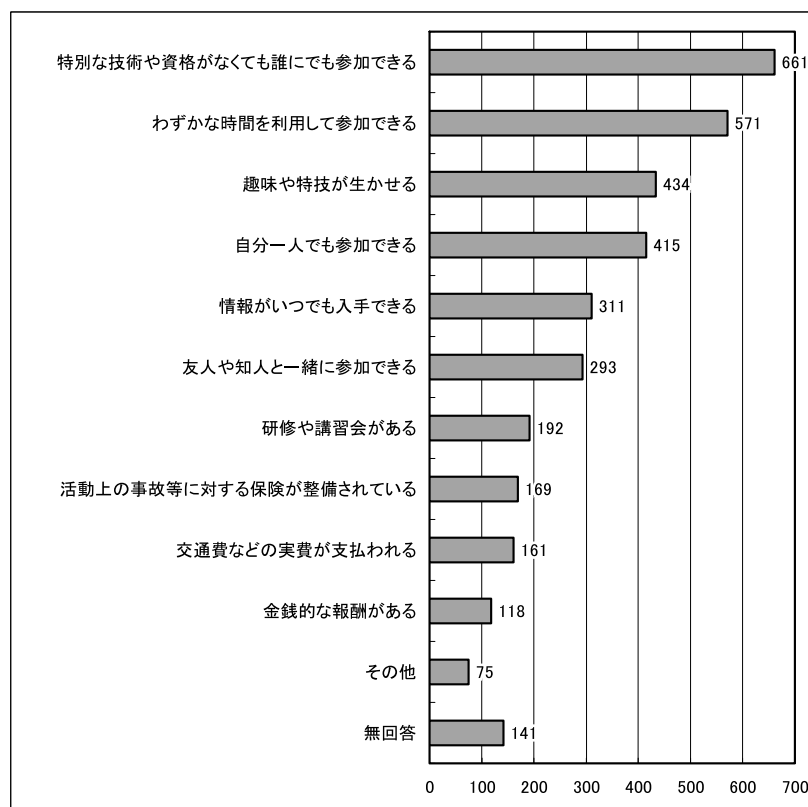
問22 以下のような地域・ボランティア活動に参加したことがありますか。〔あてはまるものすべて〇〕  
(n=1,574)

	件数	比率
健康づくり・生きがいがづくりに関する活動	124	7.9%
高齢者福祉に関する活動	107	6.8%
障害者福祉に関する活動	54	3.4%
子育てに関する活動	105	6.7%
教育・文化・スポーツに関する活動	174	11.1%
草むしり、ゴミ拾い等の清掃活動	593	37.7%
防犯、防災などの活動	362	23.0%
交通安全に関する活動	104	6.6%
運動会やお祭りなどのイベント活動	620	39.4%
その他	33	2.1%
活動したことがない	516	32.8%
無回答	80	5.1%
合計	2,872	182.5%



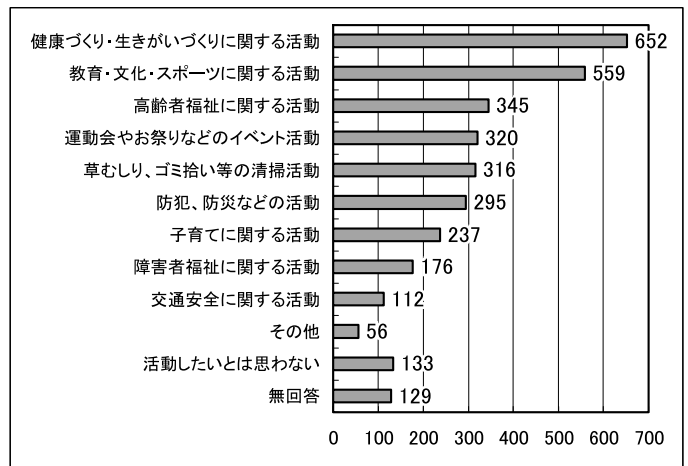
問23 今後地域・ボランティア活動に参加するにはどのような条件が揃うと良いですか。〔〇は3つまで〕  
(n=1,574)

	件数	比率
特別な技術や資格がなくても誰にでも参加できる	661	42.0%
趣味や特技が生かせる	434	27.6%
友人や知人と一緒に参加できる	293	18.6%
自分一人でも参加できる	415	26.4%
金銭的な報酬がある	118	7.5%
交通費などの実費が支払われる	161	10.2%
わずかな時間を利用して参加できる	571	36.3%
研修や講習会がある	192	12.2%
活動上の事故等に対する保険が整備されている	169	10.7%
情報がいつでも入手できる	311	19.8%
その他	75	4.8%
無回答	141	9.0%
合計	3,541	225.0%



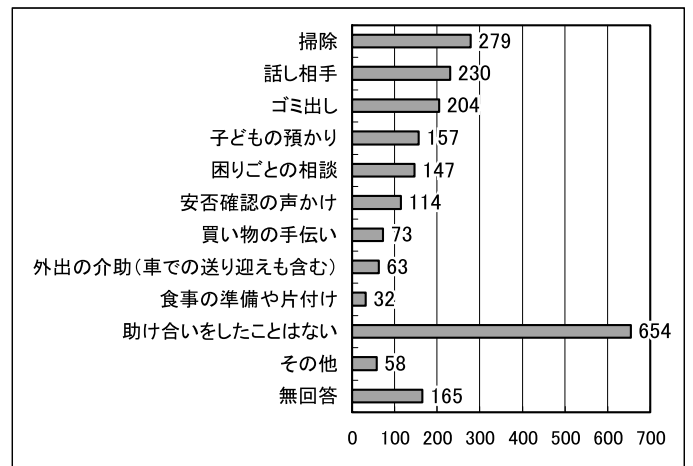
問24 上記問23のような条件が揃った場合、今後積極的に参加したい、または継続したい地域・ボランティア活動はどのようなものですか。〔あてはまるものすべて〇〕  
(n=1,574)

	件数	比率
健康づくり・生きがいづくりに関する活動	652	41.4%
高齢者福祉に関する活動	345	21.9%
障害者福祉に関する活動	176	11.2%
子育てに関する活動	237	15.1%
教育・文化・スポーツに関する活動	559	35.5%
草むしり、ゴミ拾い等の清掃活動	316	20.1%
防犯、防災などの活動	295	18.7%
交通安全に関する活動	112	7.1%
運動会やお祭りなどのイベント活動	320	20.3%
その他	56	3.6%
活動したいとは思わない	133	8.4%
無回答	129	8.2%
合計	3,330	211.6%



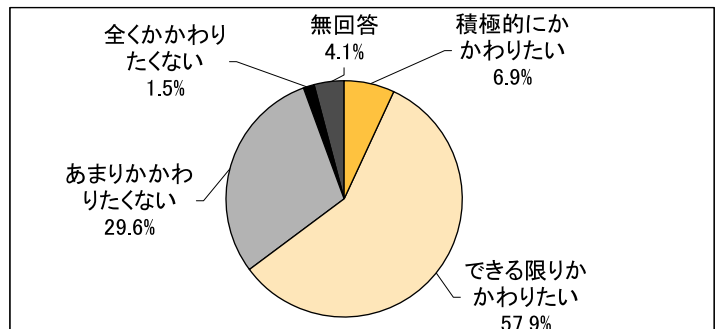
問25 今までに、以下のような地域での助け合いを互いにしたり、されたりしたことがありますか。〔〇は3つまで〕  
(n=1,574)

	件数	比率
話し相手	230	14.6%
困りごとの相談	147	9.3%
買い物の手伝い	73	4.6%
ゴミ出し	204	13.0%
掃除	279	17.7%
食事の準備や片付け	32	2.0%
子どもの預かり	157	10.0%
外出の介助(車での送り迎えも含む)	63	4.0%
安否確認の声かけ	114	7.2%
助け合いをしたことはない	654	41.6%
その他	58	3.7%
無回答	165	10.5%
合計	2,176	138.2%



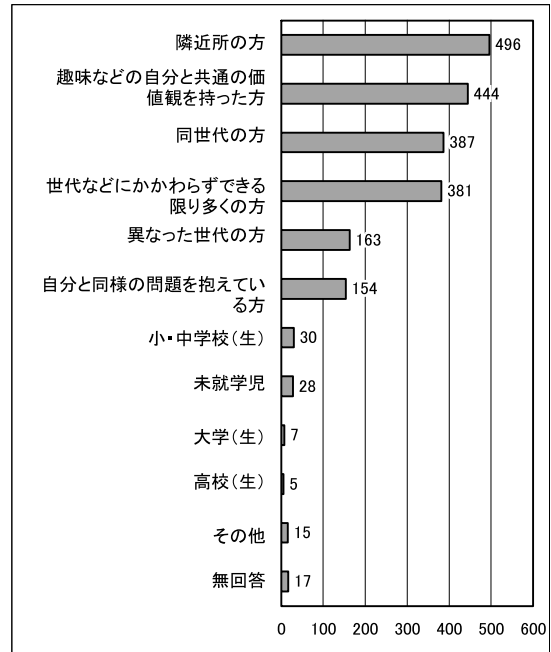
問26 今後、地域の方々とどの様にかかわりを持ちたいと考えていますか。〔最もあてはまるもの1つに〇〕  
(n=1,574)

	件数	比率
積極的にかかわりたい	109	6.9%
できる限りかかわりたい	912	57.9%
あまりかかわりたくない	466	29.6%
全くかかわりたくない	23	1.5%
無回答	64	4.1%
合計	1,574	100.0%



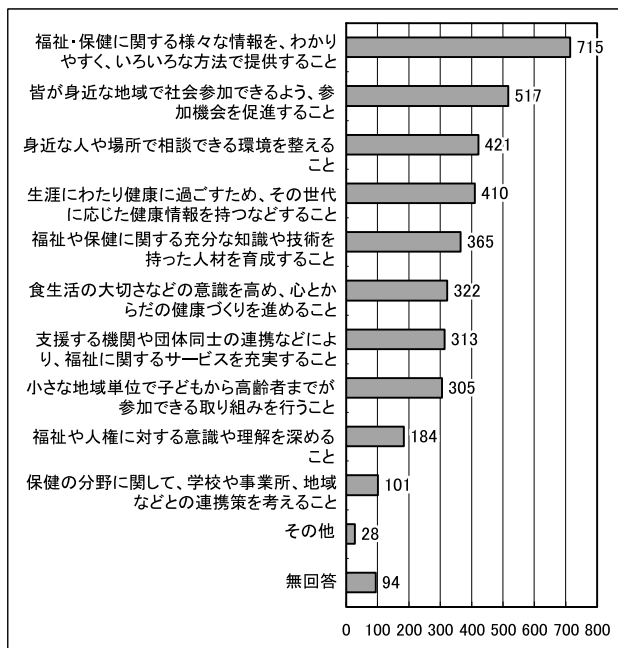
【問26で「積極的にかかわりたい」、「できる限りかかわりたい」と回答された方のみ】  
 問27 今後、地域のどの様な方とかがかかわりを持ちたいと考えていますか。〔〇は3つまで〕  
 (n = 1,021)

	件数	比率
同世代の方	387	37.9%
異なった世代の方	163	16.0%
自分と同様の問題を抱えている方	154	15.1%
隣近所の方	496	48.6%
未就学児	28	2.7%
小・中学校(生)	30	2.9%
高校(生)	5	0.5%
大学(生)	7	0.7%
趣味などの自分と共通の価値観を持った方	444	43.5%
世代などにかかわらずできる限り多くの方	381	37.3%
その他	15	1.5%
無回答	17	1.7%
合計	2,127	208.3%



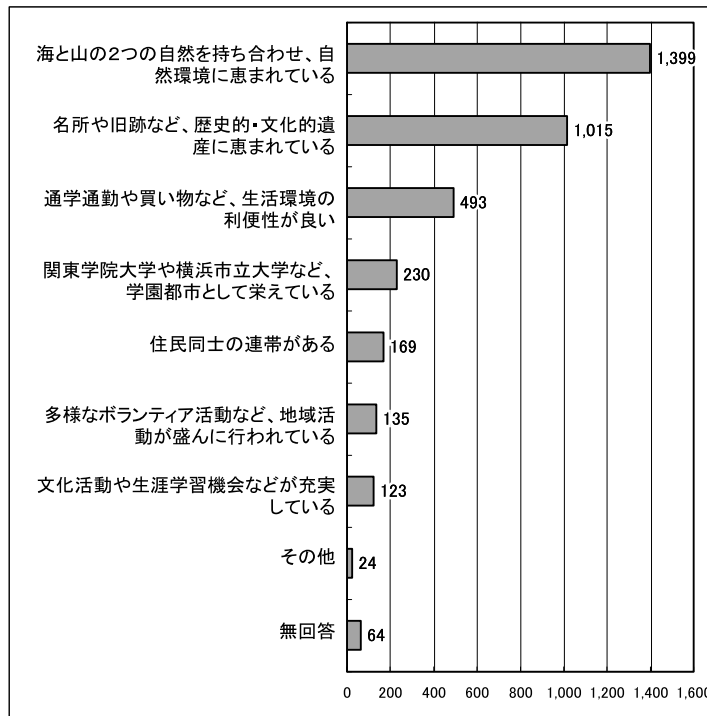
問28 今後、地域福祉を推進していくために、区民、事業者、行政などが共に取り組んでいくものとして、どのようなことが重要だと思いますか。〔〇は3つまで〕  
 (n = 1,574)

	件数	比率
皆が身近な地域で社会参加できるよう、参加機会を促進すること	517	32.8%
小さな地域単位で子どもから高齢者までが参加できる取り組みを行うこと	305	19.4%
食生活の大切さなどの意識を高め、心とからだの健康づくりを進めること	322	20.5%
生涯にわたり健康に過ごすため、その世代に応じた健康情報を持つなどすること	410	26.0%
福祉・保健に関する様々な情報を、わかりやすく、いろいろな方法で提供すること	715	45.4%
身近な人や場所で相談できる環境を整えること	421	26.7%
支援する機関や団体同士の連携などにより、福祉に関するサービスを充実すること	313	19.9%
保健の分野に関して、学校や事業所、地域などとの連携策を考えること	101	6.4%
福祉や人権に対する意識や理解を深めること	184	11.7%
福祉や保健に関する十分な知識や技術を持った人材を育成すること	365	23.2%
その他	28	1.8%
無回答	94	6.0%
合計	3,775	239.8%



問29 あなたが思う「金沢区らしさ」とはどのようなものですか。〔〇は3つまで〕  
(n=1,574)

	件数	比率
海と山の2つの自然を持ち合わせ、自然環境に恵まれている	1,399	88.9%
名所や旧跡など、歴史的・文化的遺産に恵まれている	1,015	64.5%
関東学院大学や横浜市立大学など、学園都市として栄えている	230	14.6%
通学通勤や買い物など、生活環境の利便性が良い	493	31.3%
多様なボランティア活動など、地域活動が盛んに行われている	135	8.6%
住民同士の連帯がある	169	10.7%
文化活動や生涯学習機会などが充実している	123	7.8%
その他	24	1.5%
無回答	64	4.1%
合計	3,652	232.0%



問30 今後計画づくりを進めるにあたり、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。(自由回答)  
(n=1,574)

◆意見の種類

- 地域づくりについて (安心・環境・駅周辺の整備・交通機関の整備) 【77件】
- 地域福祉計画について 【40件】
- 地域施設の設置・整備について 【32件】
- 地域住民等の交流について 【30件】
- 広報・啓発について 【29件】
- 子育てについて (援助・環境・教育・講習・交流・施設の設置及び整備・情報提供) 【28件】
- 福祉・保健について (計画・講習会・サービス・情報提供・自立支援) 【27件】
- 行政への要望等について 【24件】
- 「金沢区らしさ」について 【17件】 ○ 高齢者について (楽しめる企画提案・地域活動参加) 【17件】
- 道路・交通等の基盤整備について 【13件】
- 健康づくりについて 【10件】 ○ 窓口について 【10件】
- 地域ボランティアについて (活動通知・参加) 【9件】 ○ ゴミ問題について 【9件】
- 本アンケートについて 【8件】
- 犯罪・防災について 【6件】 ○ 障がい者について (施設の設置及び整備・道路整備) 【6件】
- 人材育成について 【5件】
- 退職者の地域活動参加について 【2件】
- その他 【9件】

## 金沢区地域福祉保健計画策定委員会委員名簿

No.	氏名	推薦団体等	備考
1	浅井 恵美子	金沢区民生委員児童委員協議会	平成17年4月25日～平成18年3月31日
2	岩室 栄子	金沢区食生活等改善推進員会	
3	岸 紀子	公募委員	
4	桐原 重孝	公募委員	
5	桐渕 リツ子	金沢区地域ケア施設長会	平成16年9月10日～平成17年4月24日
6	清水 啓作	公募委員	
7	新明 右康	社団法人 金沢区三師会	
8	高橋 桃代	公募委員	
9	田附 園子	公募委員	
10	畠山 政子	公募委員	副委員長
11	濱崎 齋	金沢区町内会連合会	平成16年9月10日～平成17年6月23日
12	布川 和夫	金沢区町内会連合会	平成17年6月24日～平成18年3月31日
13	榎 あつみ	金沢区社会福祉協議会施設部会	
14	増田 一行	金沢区社会福祉協議会	
15	柳下 重郎	金沢区民生委員児童委員協議会	平成16年9月10日～平成17年4月24日
16	安 實	金沢区地域ケア施設長会	平成17年4月25日～平成18年3月31日
17	安井 恵子	金沢区保健活動推進員会	
18	山口 稔	関東学院大学文学部教授	委員長
19	監物 行雄	金沢区福祉保健センター担当部長	平成16年9月10日～平成17年3月31日
20	指田 文夫	金沢区福祉保健センター担当部長	平成17年4月1日～平成18年3月31日

敬称略 50音順（行政職員を除く）

横浜市金沢区福祉保健課

平成17年11月発行

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀2-9-1

電話045(788)7824

FAX045(784)4600

横浜市広報印刷物登録 第170458号

類別・分類 A-QA101

